
第九期帯広市高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定に向けた
アンケート調査結果（概要版）

令和5年5月
帯広市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査内容及び回収結果	1
II 調査結果（概要）	2
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
(1) 年齢	2
(2) 居住地域	2
(3) 家族構成	3
(4) 普段の生活での介護・介助の必要	4
(5) 外出の頻度	5
(6) 外出する際の移動手段	5
(7) 物忘れが多いと感じる	6
(8) スマートフォン（アプリやSNSなど）を利用している	7
(9) 会やグループ等への参加状況	8
(10) 支援が必要になったとき、望む支援	9
(11) 自らが周囲に出来る支援	10
(12) 緊急時にひとりで避難することができる	10
(13) 孤立・孤独を感じる	11
(14) コロナ禍前と比べて、孤立・孤独を感じるが増えた	11
(15) 現在の健康状態	12
(16) 「地域包括支援センター」の認知	12
(17) 介護が必要になったとき：暮らしたい場所	13
2. 介護保険サービス利用状況実態調査（利用者）	14
(1) 年齢	14
(2) 居住地域	14
(3) 家族構成	15
(4) 要介護度	15
(5) 適当と考える1ヶ月あたりの自己負担額	16
(6) 介護保険制度全般に対する満足度	17
(7) 今後どこで介護サービスを受けたいか（自宅にお住いの方）	18
(8) 力を入れるべき高齢者保健福祉施策	19
(9) 施設などの入所待ちの状況	21
(10) 現在の施設に入所（入居）した理由	21

3. 介護保険サービス利用状況実態調査（未利用者）	22
(1) 年齢	22
(2) 居住地域	22
(3) 家族構成	23
(4) 要介護度	23
(5) 相当と考える1ヶ月あたりの自己負担額	24
(6) 介護保険制度全般に対する満足度	25
(7) 介護サービスを利用していない理由	26
(8) 今後利用したい介護サービス	27
(9) 力を入れるべき高齢者保健福祉施策	28
4. 在宅介護実態調査	30
A票（本人について）	30
(1) 世帯構成	30
(2) 年齢	30
(3) 要介護度	31
(4) 介護サービス以外の支援・サービスの利用状況	32
(5) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	33
B票（主な介護者について）	34
(1) 主な介護者と本人の関係	34
(2) 主な介護者の年齢	34
(3) 複数人の介護の有無	35
(4) 身体的介護や介助の内容	36
(5) 介護・お世話をすることによる生活への影響	36
(6) 介護を理由とした離職等の状況	37
(7) 介護・お世話についての相談の有無	38
(8) 生活を継続していくにあたっての不安	39
(9) 介護者を支えるために必要な支援策	41
(10) 主な介護者の勤務形態	42
(11) 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援	43
5. 事業所における介護労働実態調査	44
(1) 全従業員数と介護保険事業従事者の数	44
(2) 従業員の職種別過不足の状況	45
(3) 従業員が不足している理由	46
(4) 人材確保のための取組みについて	47
(5) 訪問介護員及び介護職員採用後の基本給見直しについて	48
(6) 経営の効率面での対応	49
(7) 従業員の定着状況について	50
(8) 介護職員の定着促進のための方策	50

(9) 人材確保・負担軽減に関する国や行政への要望.....	51
(10) 指定介護サービス事業を運営する上での問題点	52
6. 介護労働者の就業実態と就業意識調査.....	53
(1) 就業形態.....	53
(2) 勤務形態.....	53
(3) 現在の事業所での勤続年数	54
(4) 現在持っている資格.....	55
(5) 今後取得したい資格.....	57
(6) 昨年の年収.....	58
(7) 賃金や手当等についての希望	58
(8) 現在の仕事の満足度.....	59
(9) 今の勤務先にいつまで勤めたいか	60
(10) 労働条件等についての悩み・不安・不満等	61
(11) 離職する人が多い原因について	62
7. 各種調査における類似の設問について.....	63
(1) 意思表示が出来なくなった時に備えて家族と話し合ったこと	63
(2) 最期を迎えたい場所.....	64

I 調査の概要

1. 調査の目的

令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、本市の高齢者（要介護（要支援）認定者や一般高齢者、サービス利用者・未利用者）の生活状況や今後のサービス利用意向を把握するとともに、介護事業所及び介護事業所で勤務する介護労働者の実態を調査したものである。また、在宅介護の実態についても被介護者、介護者の両者から調査を実施した。調査方法や調査の実施概要は以下に示されるとおりである。

2. 調査内容及び回収結果

調査期間：令和5年1月13日（金）～31日（火）

調査方法：無作為抽出による郵送（65歳以上高齢者調査）

全対象者に郵送（事業所・介護労働者調査）

※①⑤⑥の調査についてはWEB回答可

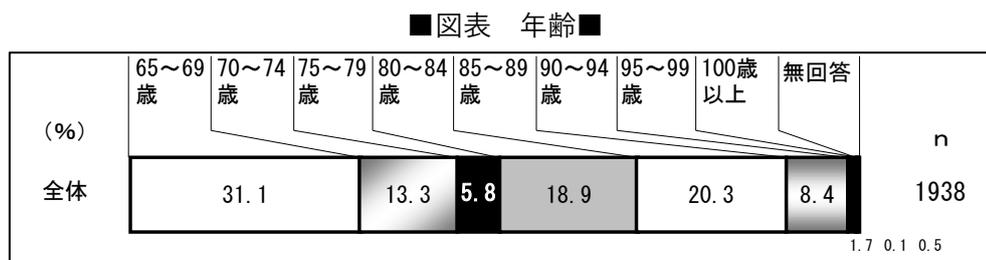
調査種別		対象者	対象者数 (人)		配布数合計 (票)		回収数 (票)	回収率 (%)
①	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要支援の認定を受けている方、65歳以上の方	要支援認定者	3,499	1,000	3,000	1,938	64.6
			一般高齢者	37,277	2,000			
②	介護保険サービス利用状況実態調査（利用者）	要介護（要支援）認定者で、居宅介護サービスを利用または施設に入所している方	15,519		2,000		1,000	50.0
③	介護保険サービス利用状況実態調査（未利用者）	要介護（要支援）認定者で、直近6か月間に居宅介護サービスを利用していない方	1,338		800		456	57.0
④	在宅介護実態調査	要支援・要介護認定を受けられた方及びそのご家族など主な介護者の方	1,937		1,000		613	61.3
⑤	事業所における介護労働実態調査	市内の介護保険法で指定された介護サービスを実施する事業者			125		49	39.2
⑥	介護労働者の就業実態と就業意識調査	市内に所在する介護サービスを提供する事業所に従事する介護労働者			3,508		1,252	35.7

II 調査結果（概要）

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

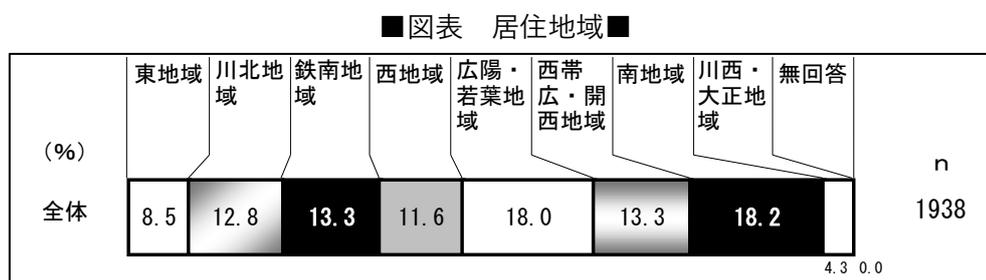
(1) 年齢

問3 あなたの年齢を教えてください。（令和5年1月1日現在）



(2) 居住地域

問4 あなたの居住地域を教えてください。

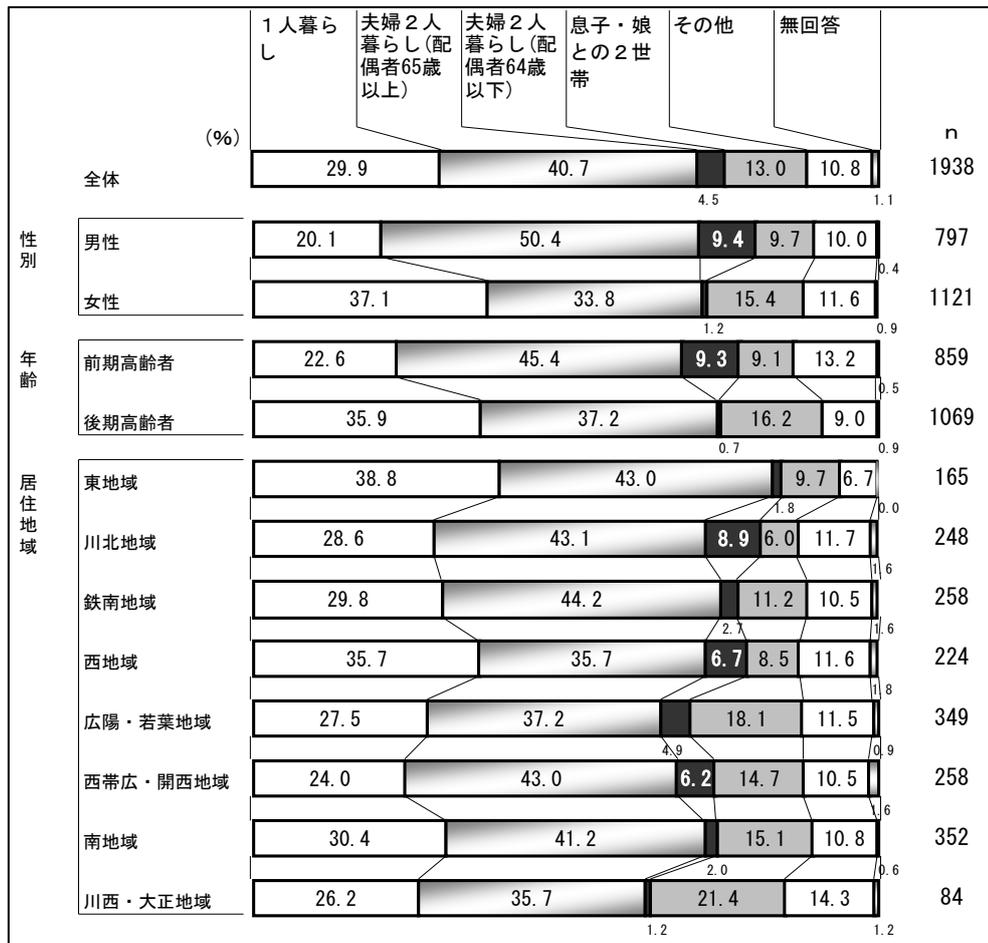


(3) 家族構成

問6 あなたの家族構成を教えてください。

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(40.7%)、「1人暮らし」(29.9%)、「息子・娘との2世帯」(13.0%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.5%)。

■ 図表 家族構成 ■

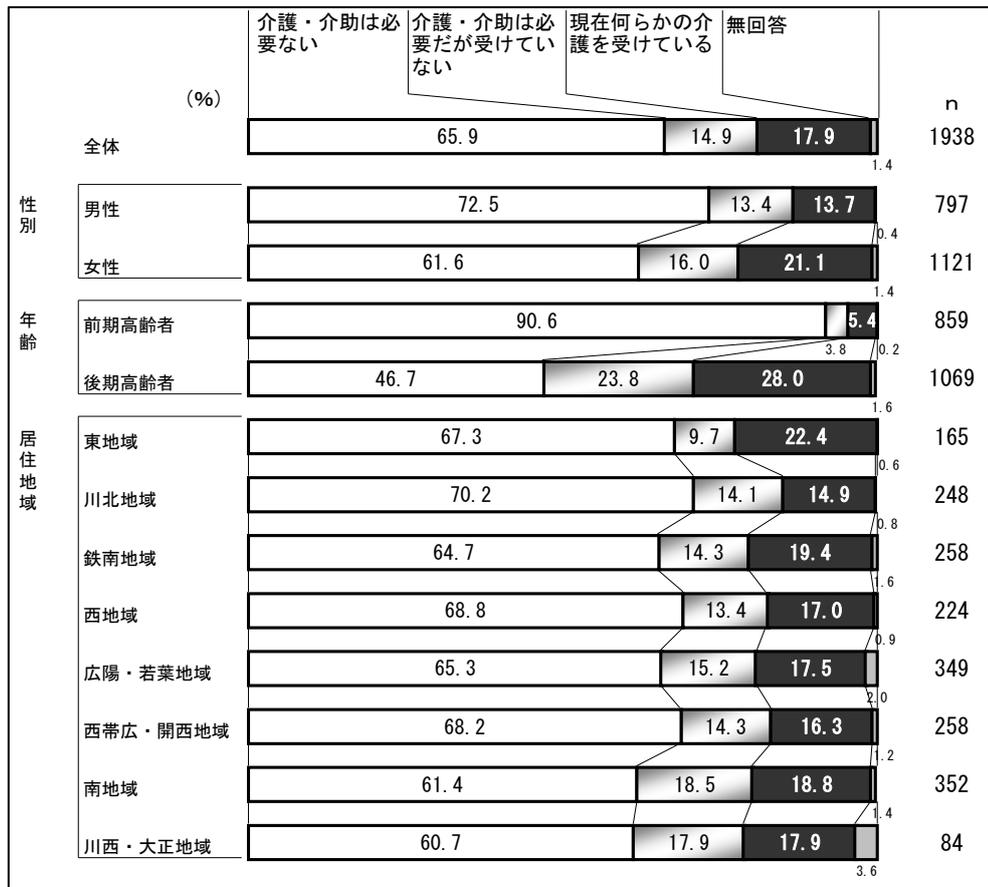


(4) 普段の生活での介護・介助の必要

問7 あなたは、普段の生活で介護・介助が必要ですか。

「介護・介助は必要ない」(65.9%)、「現在何らかの介護を受けている」(17.9%)、「介護・介助は必要だが受けていない」(14.9%)。

■図表 普段の生活での介護・介助の必要■

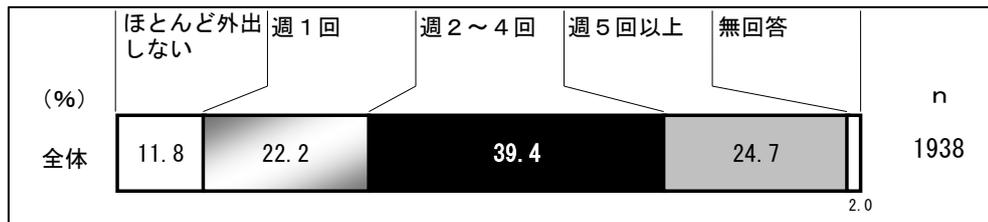


(5) 外出の頻度

問 14 どのくらいの頻度で外出していますか。

「週2～4回」(39.4%)、「週5回以上」(24.7%)、「週1回」(22.2%)、「ほとんど外出しない」(11.8%)。

■図表 外出の頻度■

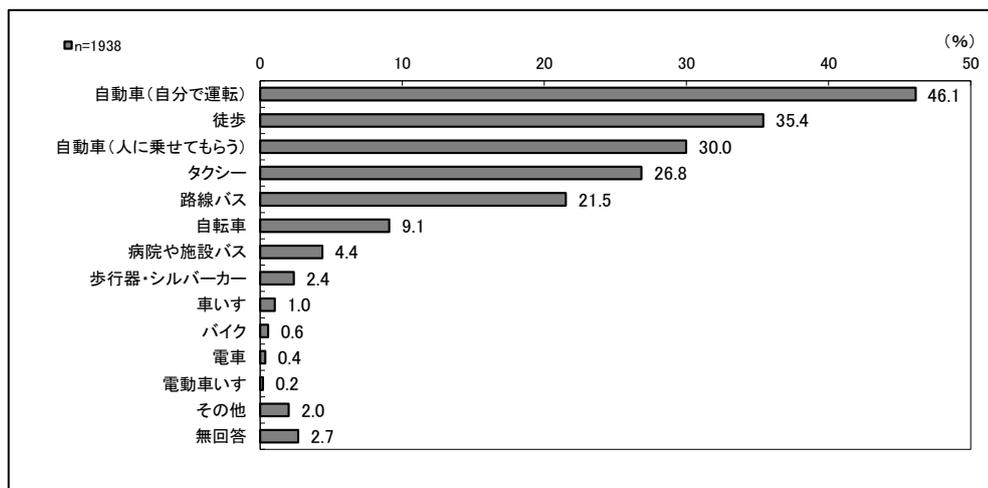


(6) 外出する際の移動手段

問 17 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

「自動車(自分で運転)」(46.1%)が第1位。
 「徒歩」(35.4%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(30.0%)、「タクシー」(26.8%)、「路線バス」(21.5%)等がこれに続く。

■図表 外出する際の移動手段■



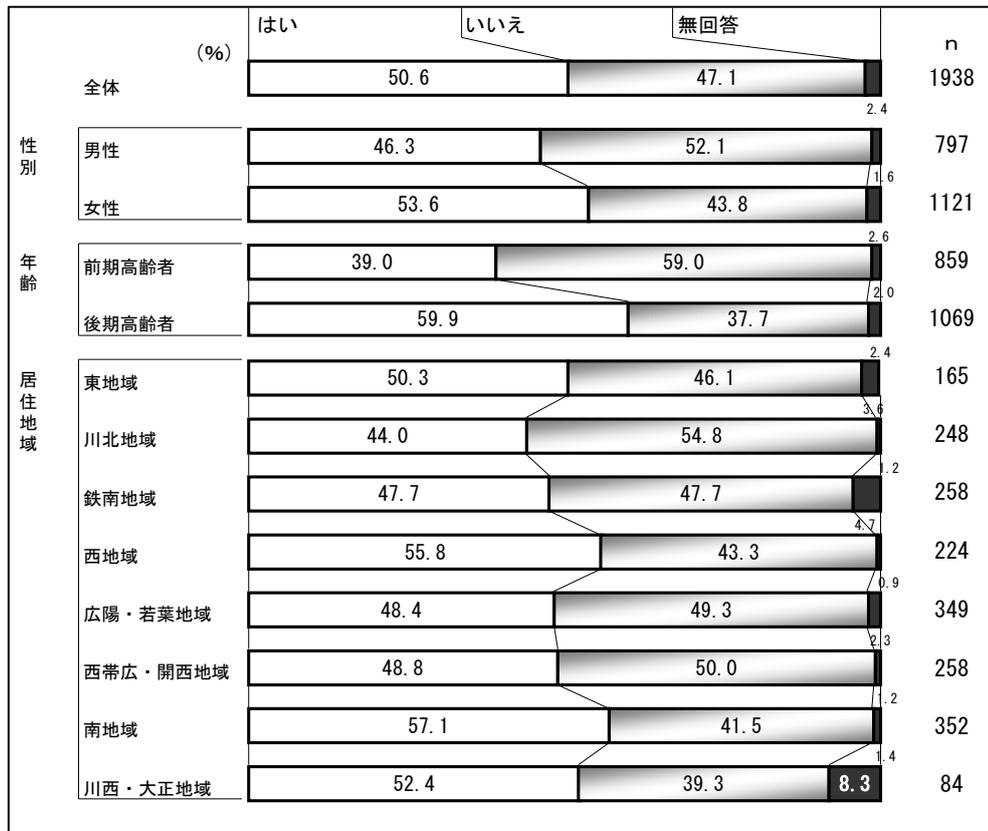
(7) 物忘れが多いと感じる

問 23 物忘れが多いと感じますか。

50.6%が「はい」と回答。

性別では女性が、年齢では後期高齢者が「はい」の割合が高い。

■図表 物忘れが多いと感じる■

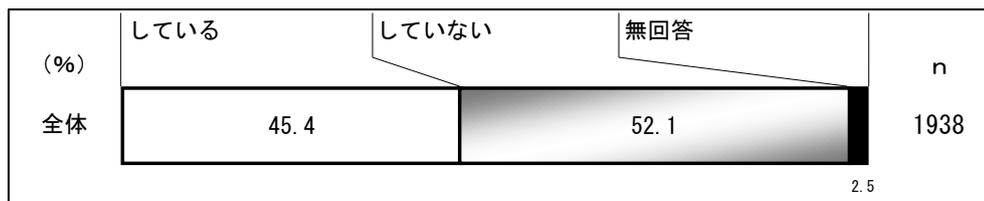


(8) スマートフォン（アプリや SNS など）を利用している

問 29 スマートフォン（アプリや SNS など）を利用していますか。

45.4%が「している」と回答。

■図表 スマートフォン（アプリや SNS など）を利用している■



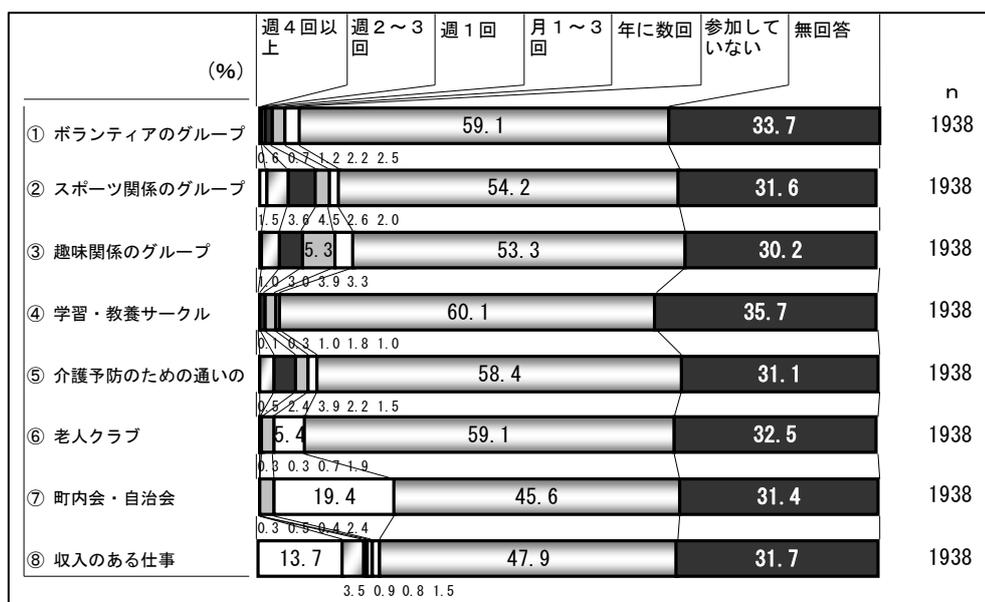
(9) 会やグループ等への参加状況

問 30 以下のような会やグループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

- ①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、
 ③趣味関係のグループ、④学習・教養サークル、⑤地域交流サロン、認知症カフェ、茶話会、体操等のサークルなど（介護予防のための通いの場）、⑥老人クラブ、
 ⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事

『⑦町内会・自治会』、『⑧収入のある仕事』を除くすべての会やグループで、「参加していない」が過半数を超える。

■図表 会やグループ等への参加状況■



■集計表 会やグループ等への参加状況■

単位：(%)

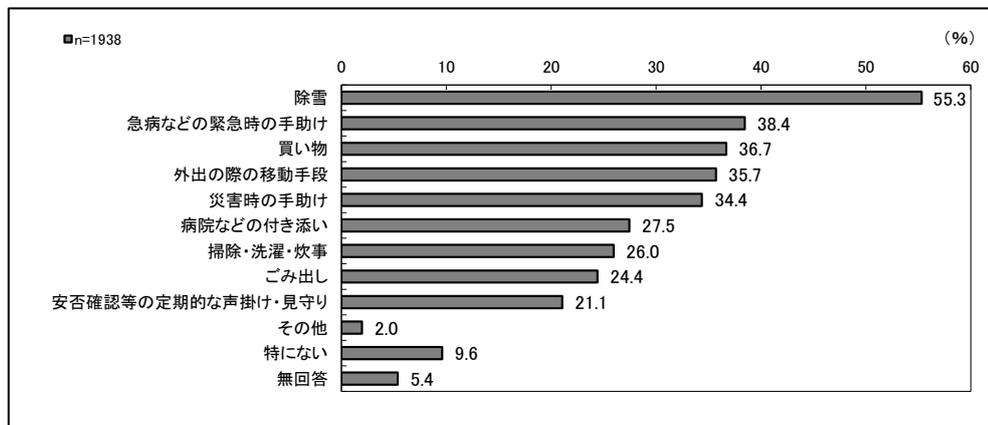
	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
① ボランティアのグループ	0.6	0.7	1.2	2.2	2.5	59.1	33.7
② スポーツ関係のグループ	1.5	3.6	4.5	2.6	2.0	54.2	31.6
③ 趣味関係のグループ	1.0	3.0	3.9	5.3	3.3	53.3	30.2
④ 学習・教養サークル	0.1	0.3	1.0	1.8	1.0	60.1	35.7
⑤ 介護予防のための通いの場	0.5	2.4	3.9	2.2	1.5	58.4	31.1
⑥ 老人クラブ	0.3	0.3	0.7	1.9	5.4	59.1	32.5
⑦ 町内会・自治会	0.3	0.5	0.4	2.4	19.4	45.6	31.4
⑧ 収入のある仕事	13.7	3.5	0.9	0.8	1.5	47.9	31.7

(10) 支援が必要になったとき、望む支援

問 40 あなたが日常生活上で支援が必要になった時、周囲の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。【複数回答】

「除雪」(55.3%)が第1位。
「急病などの緊急時の手助け」(38.4%)、「買い物」(36.7%)、「外出の際の移動手段」(35.7%)、「災害時の手助け」(34.4%)、「病院などの付き添い」(27.5%)等がこれに続く。

■図表 支援が必要になったとき、望む支援■

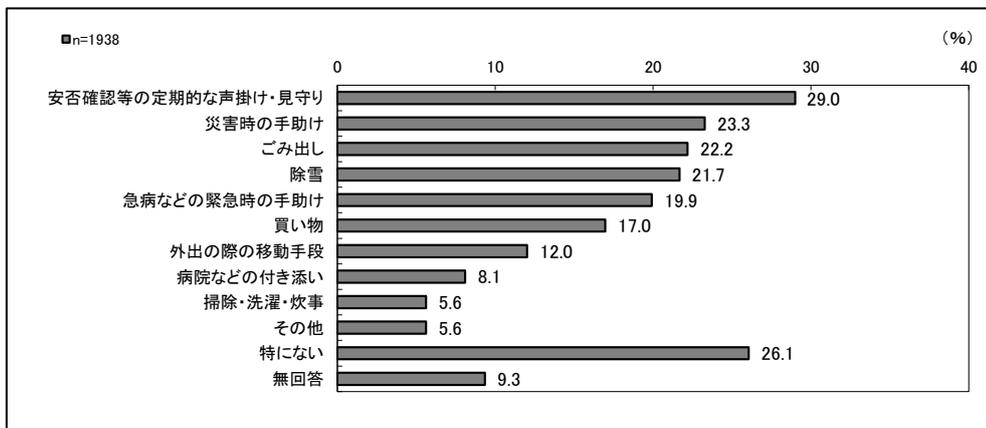


(11) 自らが周囲に出来る支援

問 41 となり近所に高齢や病気等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような支援ができますか。【複数回答】

「安否確認等の定期的な声掛け・見守り」(29.0%)が第1位。
 「災害時の手助け」(23.3%)、「ごみ出し」(22.2%)、「除雪」(21.7%)、「急病などの緊急時の手助け」(19.9%)等がこれに続く。
 26.1%が「特にない」と回答。

■図表 自らが周囲に出来る支援■

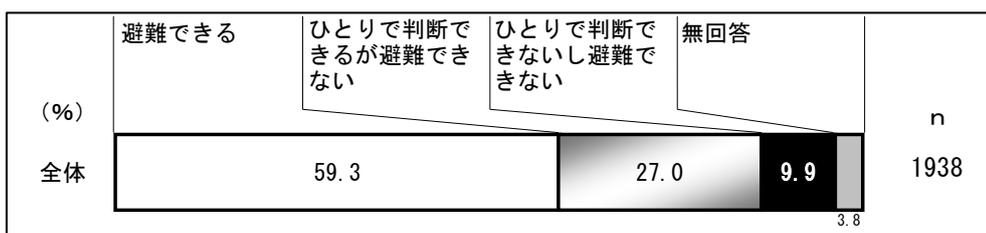


(12) 緊急時にひとりで避難することができる

問 42 あなたは災害時(台風や地震など)や火災などの緊急時に、ひとりで避難することができますか。

「ひとりで判断できるが避難できない」(27.0%)、「ひとりで判断できないし避難できない」(9.9%)が、合わせて36.9%。

■図表 緊急時にひとりで避難することができる■

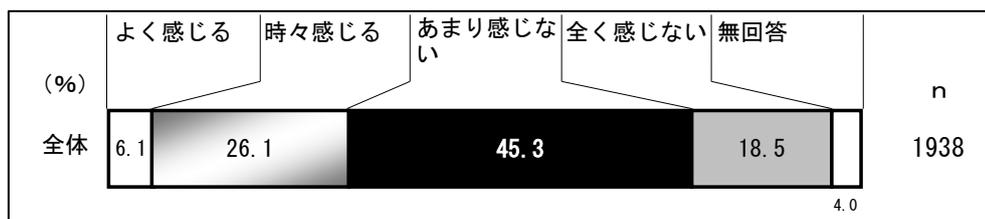


(13) 孤立・孤独を感じることに

問 44 あなたは日常において孤立・孤独を感じることはありますか。

「よく感じる」(6.1%)、「時々感じる」(26.1%)が、合わせて32.2%。
 「全く感じない」(18.5%)、「あまり感じない」(45.3%)は、合わせて63.8%。

■図表 孤立・孤独を感じることに



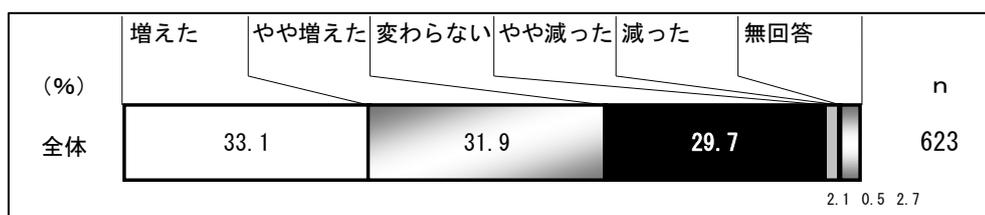
(14) コロナ禍前と比べて、孤立・孤独を感じることは増えた

※ 問 44 で「1. よく感じる」「2. 時々感じる」と回答した方にお聞きします。

問 44-1 新型コロナウイルス流行前と比較して、孤立・孤独を感じることは増えましたか。

「増えた」(33.1%)、「やや増えた」(31.9%)が、合わせて65.0%。

■図表 コロナ禍前と比べて、孤立・孤独を感じることは増えた

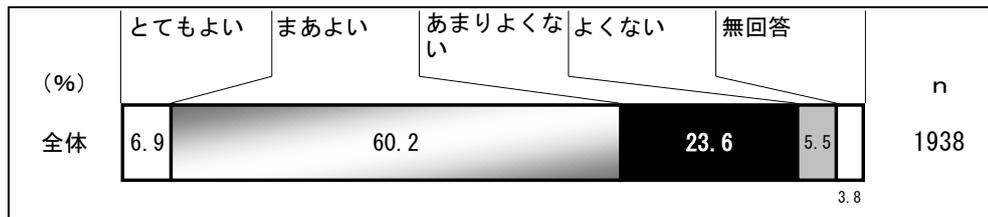


(15) 現在の健康状態

問 46 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

「とてもよい」(6.9%)、「まあよい」(60.2%) が、合わせて 67.1%。
「よくない」(5.5%)、「あまりよくない」(23.6%) は、合わせて 29.1%。

■図表 現在の健康状態■

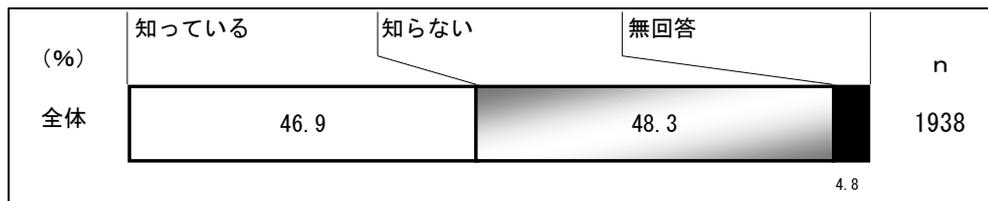


(16) 「地域包括支援センター」の認知

問 57 帯広市では高齢者と家族のための総合相談窓口である「地域包括支援センター」を開設しています。あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。

48.3%が「知らない」と回答。

■図表 「地域包括支援センター」の認知■



(17) 介護が必要になったとき：暮らしたい場所

問 66 もしあなたの介護度が進み、介護が必要な状態になった時、どこで介護を受けながら暮らしたいですか。



「家族の支援・サービス利用し自宅で過ごしたい」(36.5%)が第1位。
 「特別養護老人ホーム等の施設へ入所したい」(14.3%)、「高齢者住宅に住んでサービスを受けたい」(14.2%)、「介護付き有料老人ホーム等へ入所したい」(7.8%)、「わからない」(19.5%)がこれに続く。

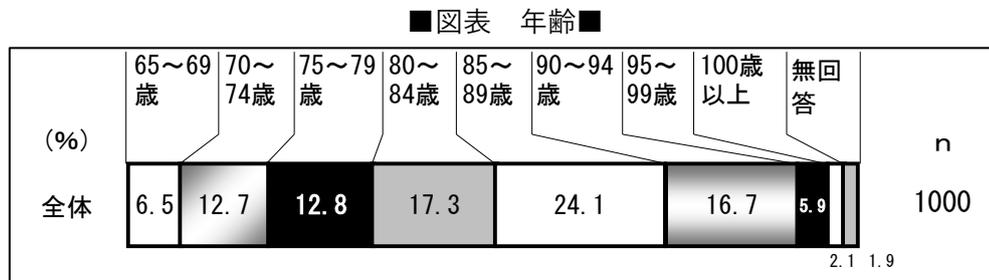
■図表 介護が必要になったとき：暮らしたい場所■

(%)	家族の支援・サービス利用し自宅で過ごしたい	高齢者住宅に住んでサービスを受けたい	介護付き有料老人ホーム等へ入所したい	特別養護老人ホーム等の施設へ入所したい	わからない	無回答	n
全体	36.5	14.2	7.8	14.3	19.5	7.6	1938

2. 介護保険サービス利用状況実態調査（利用者）

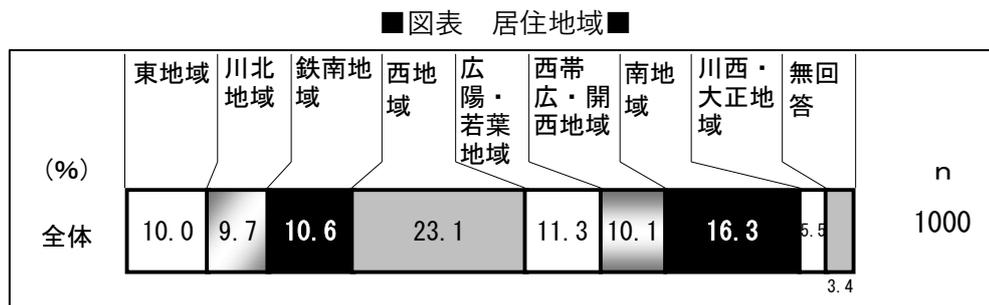
（1）年齢

問3 あなたの年齢を教えてください。



（2）居住地域

問4 あなたの居住地域を教えてください。

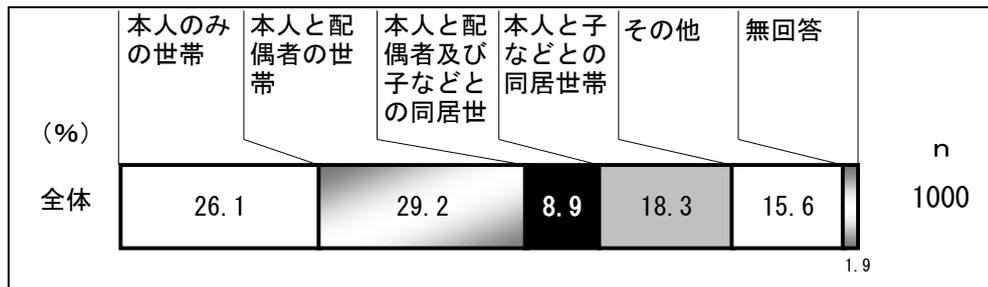


(3) 家族構成

問5 あなたの家族構成を教えてください。

「本人と配偶者の世帯」(29.2%)、「本人のみの世帯」(26.1%)、「本人と子どもなどの同居世帯」(18.3%)、「本人と配偶者及び子どもなどの同居世帯」(8.9%)。

■図表 家族構成■

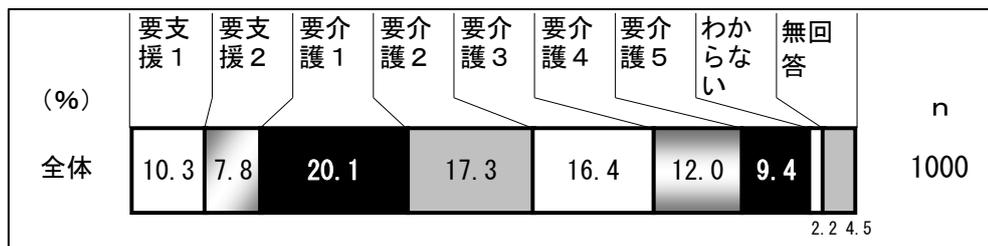


(4) 要介護度

問6 あなたの現在の介護度を教えてください。

「要介護1」(20.1%)、「要介護2」(17.3%)、「要介護3」(16.4%)、「要介護4」(12.0%)、「要支援1」(10.3%)、「要介護5」(9.4%)、「要支援2」(7.8%)。

■図表 要介護度■



(5) 相当と考える1ヶ月あたりの自己負担額

問 11 あなたがもし介護保険のサービスを利用した場合、1か月あたりの自己負担額として相当と考える支払額はいくらですか。(食費や居住費〔滞在費〕を除きます)



74.9%が20,000円の範囲内で回答。

(内訳)

「3,000円以内」(15.8%)

「3,001円～5,000円」(16.0%)

「5,001円～8,000円」(7.0%)

「8,001円～10,000円」(12.7%)

「10,001円～15,000円」(14.6%)

「15,001円～20,000円」(8.8%)

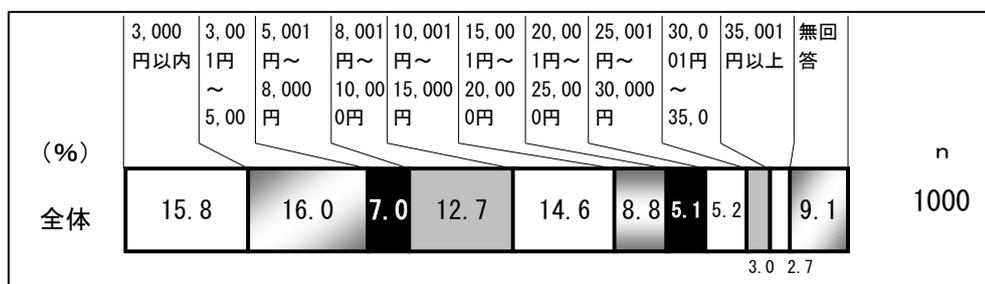
「20,001円～25,000円」(5.1%)

「25,001円～30,000円」(5.2%)

「30,001円～35,000円」(3.0%)

「35,001円以上」(2.7%)

■図表 相当と考える1ヶ月あたりの自己負担額■



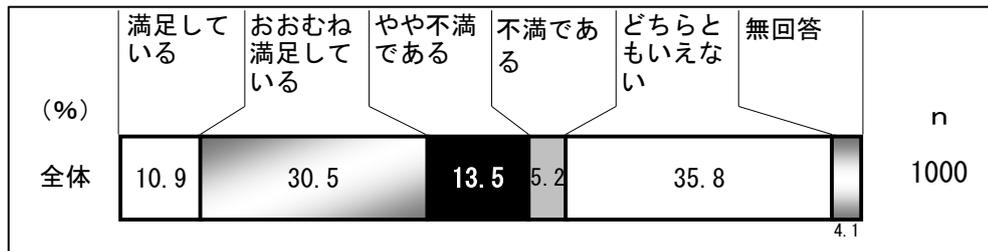
(6) 介護保険制度全般に対する満足度

問 19 あなたは、介護保険制度全般に対して満足していますか。

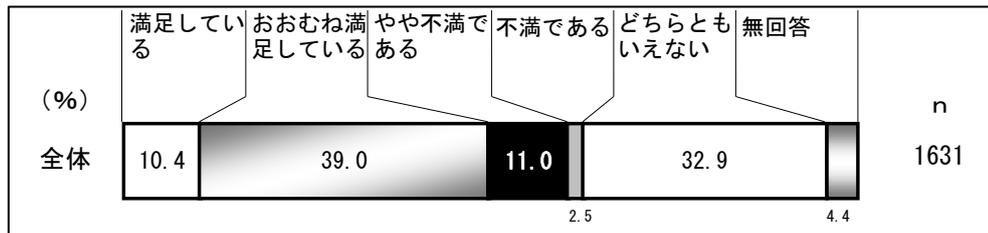


「満足している」(10.9%)、「おおむね満足している」(30.5%) が、合わせて 41.4%。
 「不満である」(5.2%)、「やや不満である」(13.5%) は、合わせて 18.7%。
 前回調査結果と比較して、満足度がやや低下している。

■図表 介護保険制度全般に対する満足度■



■参考図表 令和2年調査結果■



(7) 今後どこで介護サービスを受けたいか（自宅にお住まいの方）

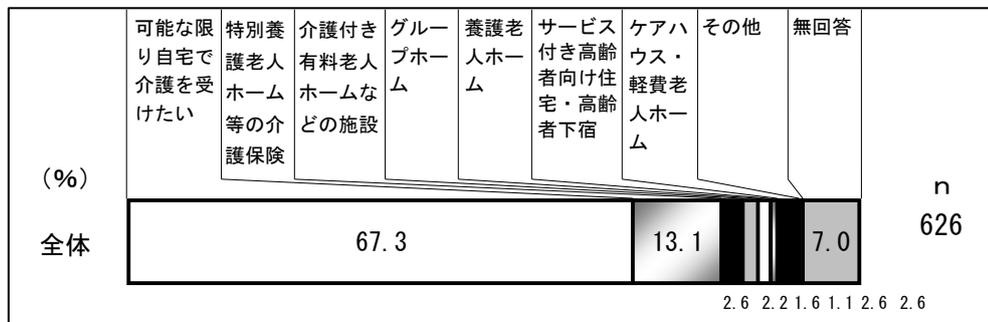
※ 問 21 は現在、自宅にお住まいの方にお聞きします。

問 21 あなたは、今後、どこで介護サービスを受けたいと考えていますか。



「可能な限り自宅で介護を受けたい」（67.3%）が他を大きく引き離して第1位。
 「特別養護老人ホーム等の介護保険施設」（13.1%）、「介護付き有料老人ホームなどの施設」（2.6%）、「ケアハウス・軽費老人ホーム」（2.6%）、「グループホーム」（2.2%）、「養護老人ホーム」（1.6%）、「サービス付き高齢者向け住宅・高齢者下宿」（1.1%）がこれに続く。

■ 図表 今後どこで介護サービスを受けたいか ■

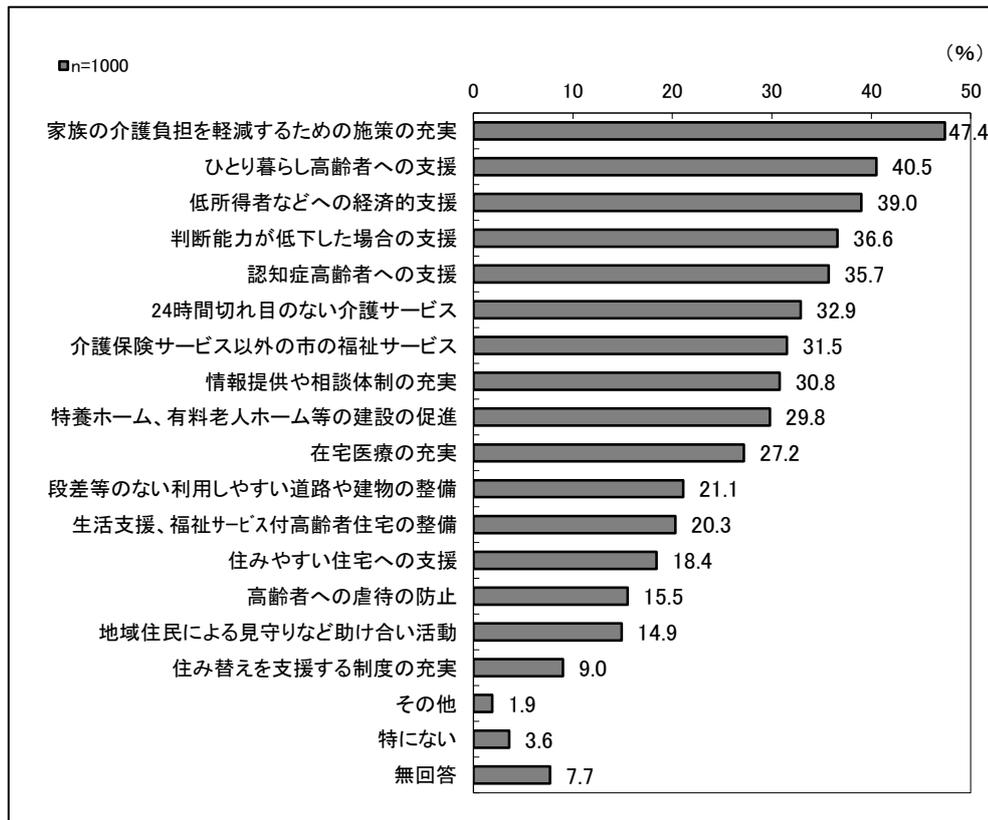


(8) 力を入れるべき高齢者保健福祉施策

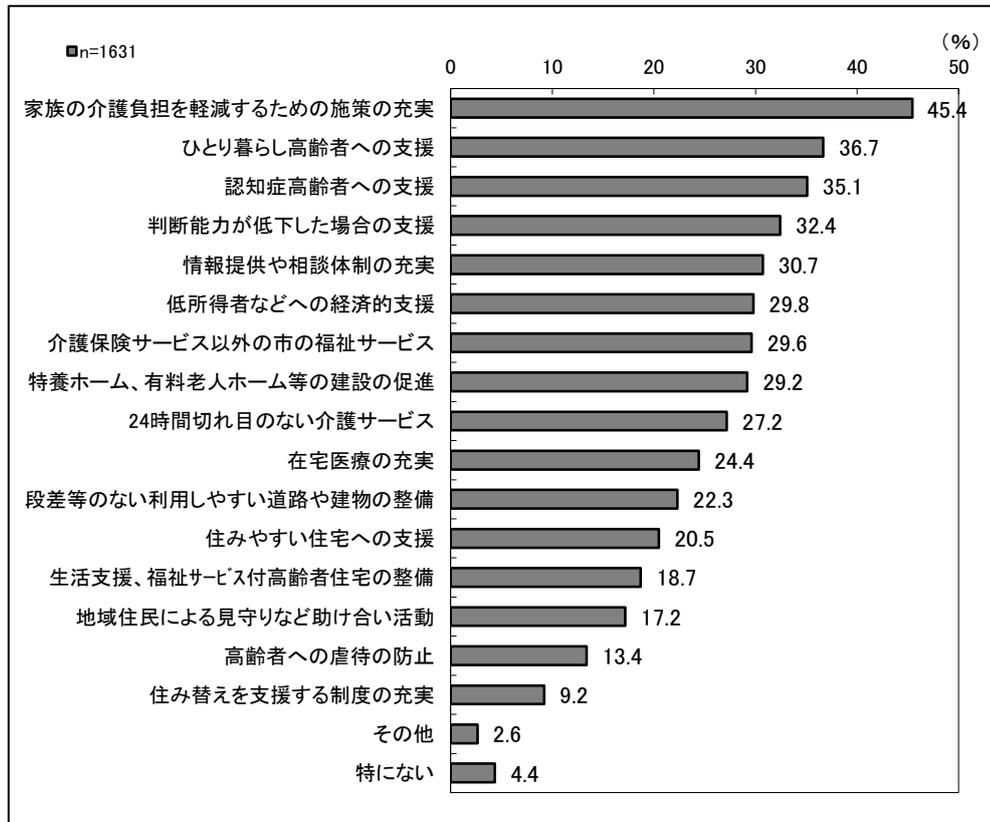
問 30 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきものは何だと思いますか。【複数回答】

「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」(47.4%)が第1位。
 「ひとり暮らし高齢者への支援」(40.5%)、「低所得者などへの経済的支援」(39.0%)、「判断能力が低下した場合の支援」(36.6%)、「認知症高齢者への支援」(35.7%)、「24時間切れ目のない介護サービス」(32.9%)、「介護保険サービス以外の市の福祉サービス」(31.5%)等がこれに続く。
 前回調査結果と比較して、全体的に回答割合が増えており、「低所得者などへの経済的支援」については前回から+9.2ポイントと大きく増加した。
 その他、「24時間切れ目のない介護サービス」についても重要度を増していることがうかがえる。

■ 図表 力を入れるべき高齢者保健福祉施策 ■



■ 参考図表 令和2年調査結果 ■

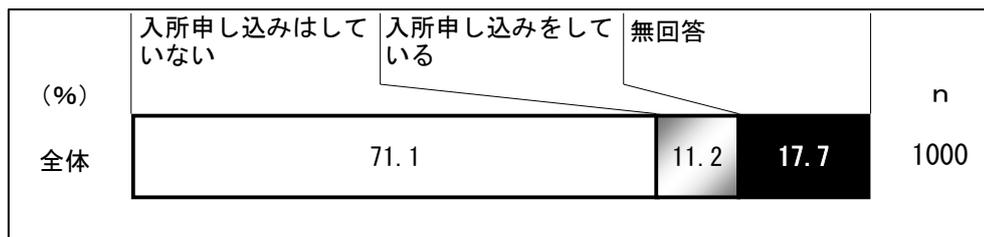


(9) 施設などの入所待ちの状況

問 31 あなたは、現在、施設などの入所待ち（入所申込）をしていますか。

「入所申し込みはしていない」(71.1%)、「入所申し込みをしている」(11.2%)

■図表 施設などの入所待ちの状況■



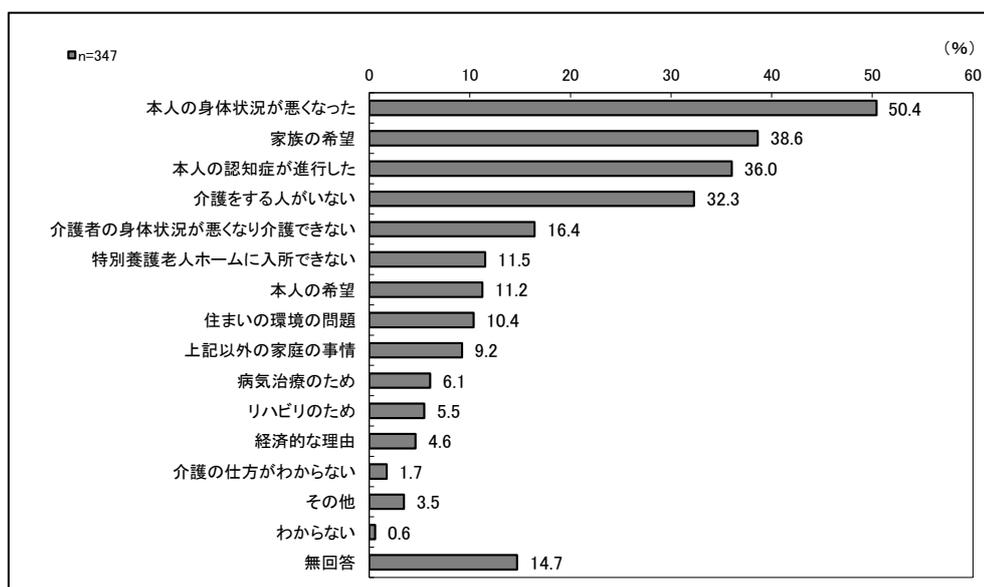
(10) 現在の施設に入所（入居）した理由

※ 現在、施設などに入所（入居）している方にお聞きします。

問 32 あなたが、現在の施設などに入所（入居）した理由は何ですか。【複数回答】

「本人の身体状況が悪くなった」(50.4%)が第1位。
 「家族の希望」(38.6%)、「本人の認知症が進行した」(36.0%)、「介護をする人がいない」(32.3%)、「介護者の身体状況が悪くなり介護できない」(16.4%)等がこれに続く。

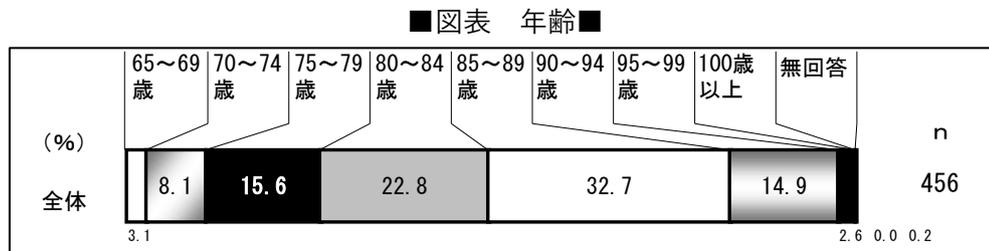
■図表 現在の施設に入所（入居）した理由■



3. 介護保険サービス利用状況実態調査（未利用者）

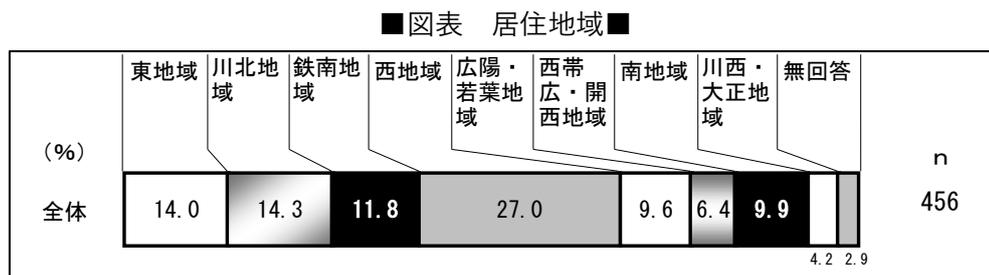
(1) 年齢

問3 あなたの年齢を教えてください。



(2) 居住地域

問4 あなたの居住地域を教えてください。

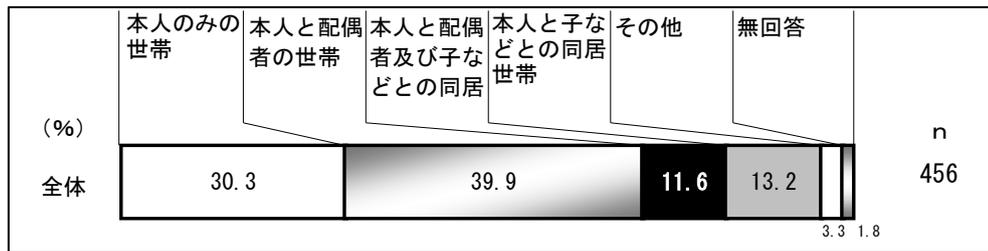


(3) 家族構成

問5 あなたの家族構成を教えてください。

「本人と配偶者の世帯」(39.9%)、「本人のみの世帯」(30.3%)、「本人と子どもなどの同居世帯」(13.2%)、「本人と配偶者及び子どもなどの同居世帯」(11.6%)。

■図表 家族構成■

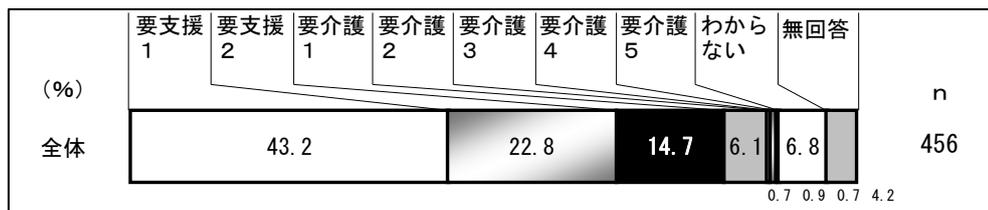


(4) 要介護度

問6 あなたの現在の介護度を教えてください。

「要支援1」(43.2%)、「要支援2」(22.8%)、「要介護1」(14.7%)、「要介護2」(6.1%)、「要介護4」(0.9%)、「要介護3」(0.7%)、「要介護5」(0.7%)。

■図表 要介護度■



(5) 相当と考える1ヶ月あたりの自己負担額

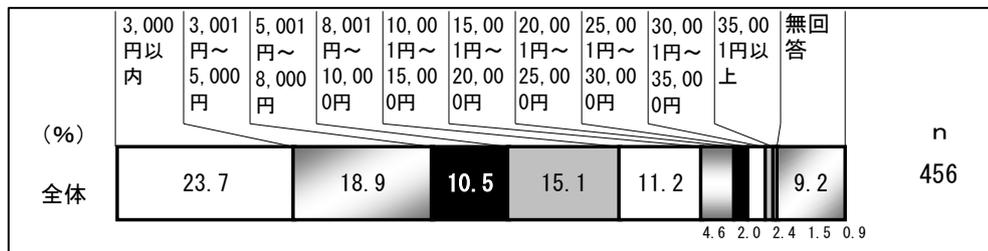
問 11 あなたがもし介護保険のサービスを利用した場合、1か月あたりの自己負担額として相当と考える支払額はいくらですか。(食費や居住費〔滞在費〕を除きます)

84.0%が20,000円の範囲内で回答。

(内訳)

- 3,000円以内 (23.7%)
- 3,001円～5,000円 (18.9%)
- 5,001円～8,000円 (10.5%)
- 8,001円～10,000円 (15.1%)
- 10,001円～15,000円 (11.2%)
- 15,001円～20,000円 (4.6%)
- 20,001円～25,000円 (2.0%)
- 25,001円～30,000円 (2.4%)
- 30,001円～35,000円 (1.5%)
- 35,001円以上 (0.9%)

■図表 相当と考える1ヶ月あたりの自己負担額■



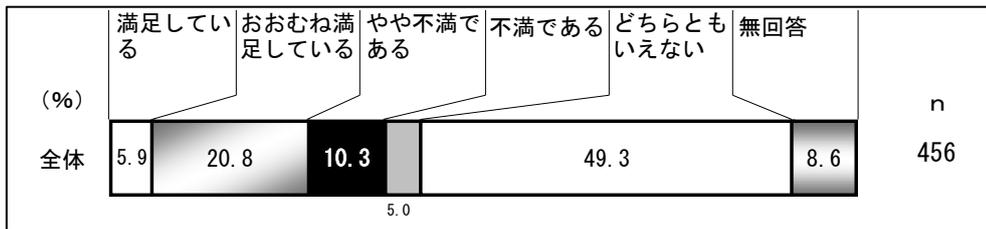
(6) 介護保険制度全般に対する満足度

問 19 あなたは、介護保険制度全般に対して満足していますか。

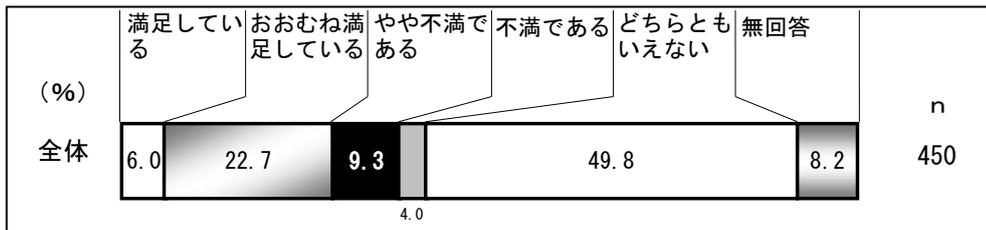


「満足している」(5.9%)、「おおむね満足している」(20.8%) が、合わせて 26.7%。
 「不満である」(5.0%)、「やや不満である」(10.3%) が、合わせて 15.3%。
 前回調査結果と比較して、満足度がやや上昇している。

■図表 介護保険制度全般に対する満足度■



■参考図表 令和2年調査結果■



(7) 介護サービスを利用していない理由

※ 問 21 で「1. 一度も利用したことがない」「2. 過去に利用したことがあるが、現在は
ない」と回答した方にお聞きします。

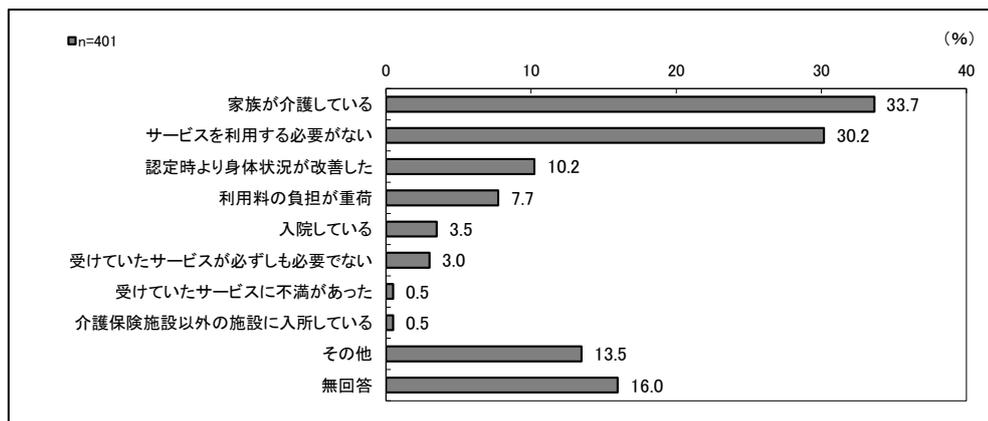
問 21-1 その理由は何ですか。【複数回答】



「家族が介護している」(33.7%)、「サービスを利用する必要がない」(30.2%) に回答
が集まる。

「認定時より身体状況が改善した」(10.2%)、「利用料の負担が重荷」(7.7%)、「入院
している」(3.5%)、「受けていたサービスが必ずしも必要でない」(3.0%)、「受けてい
たサービスに不満があった」(0.5%)、「介護保険施設以外の施設に入所している」(0.5%)
がこれに続く。

■ 図表 介護サービスを利用していない理由 ■



(8) 今後利用したい介護サービス

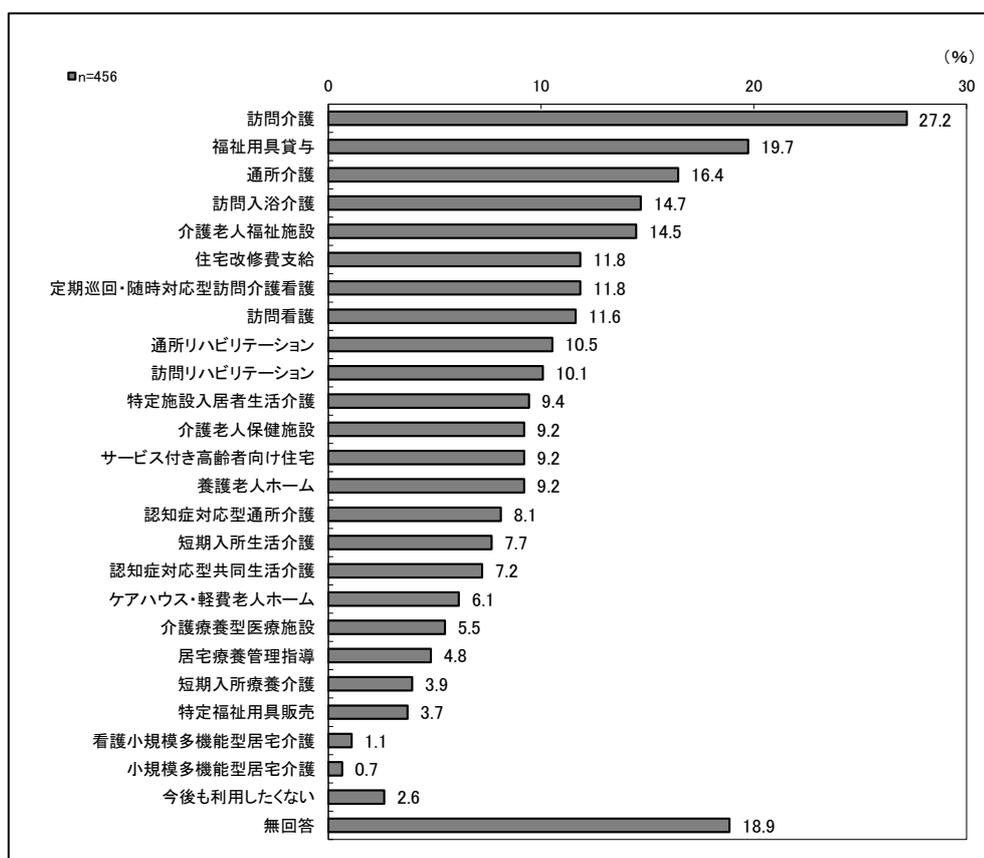
問 22 次のサービスの中で、あなたが今後、利用したい介護サービス等がありますか。

【複数回答】

「訪問介護」(27.2%) が第 1 位。

「福祉用具貸与」(19.7%)、「通所介護」(16.4%)、「訪問入浴介護」(14.7%)、「介護老人福祉施設」(14.5%)、「住宅改修費支給」(11.8%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(11.8%)等がこれに続く。

■ 図表 今後利用したい介護サービス ■



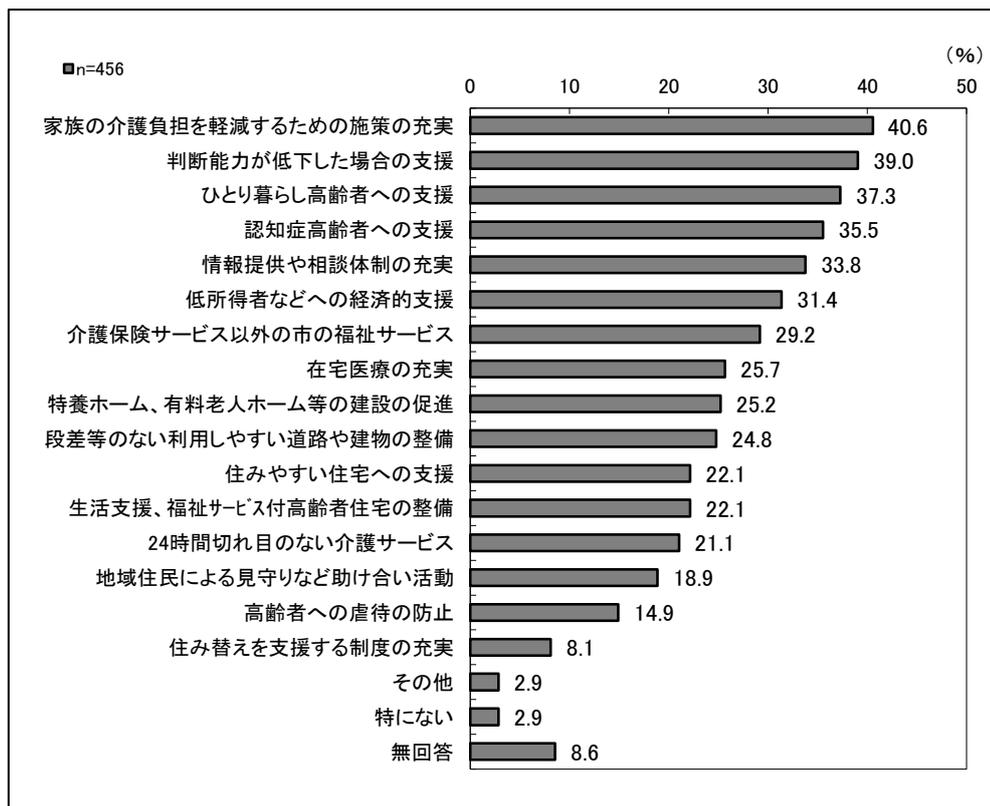
(9) 力を入れるべき高齢者保健福祉施策

問 28 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で市が力を入れていくべきものは何だと思いますか。【複数回答】

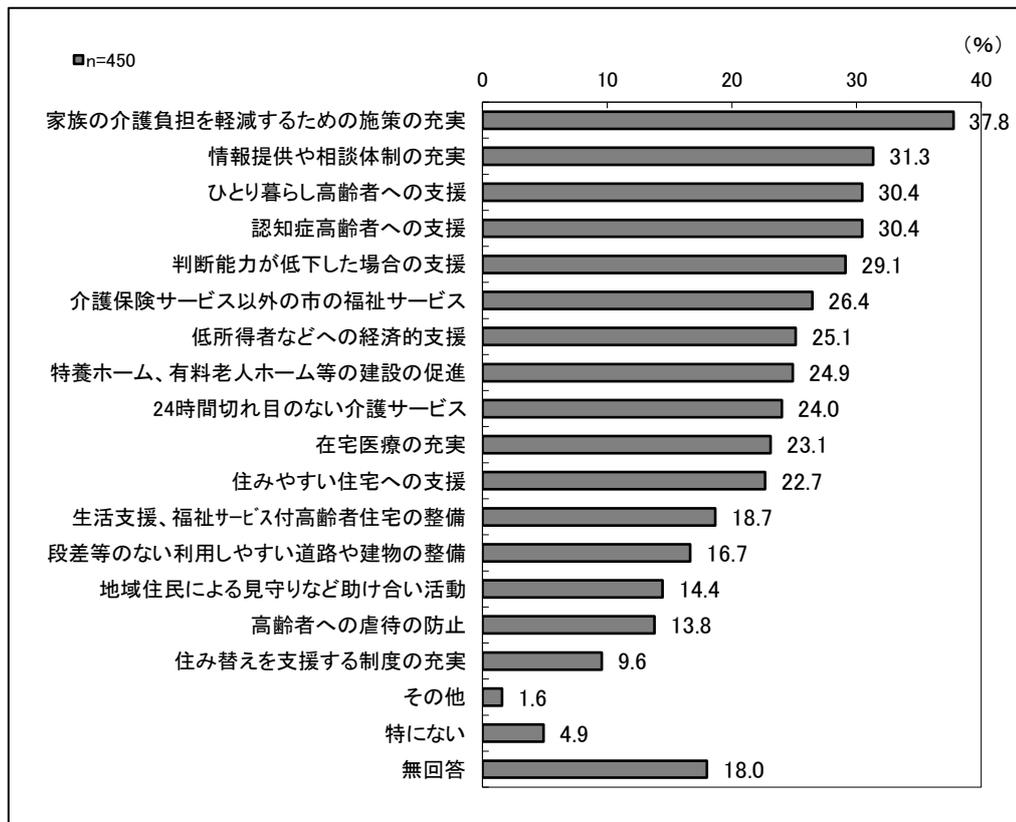


「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」(40.6%)が第1位。
 「判断能力が低下した場合の支援」(39.0%)、「ひとり暮らし高齢者への支援」(37.3%)、「認知症高齢者への支援」(35.5%)、「情報提供や相談体制の充実」(33.8%)、「低所得者などへの経済的支援」(31.4%)、「介護保険サービス以外の市の福祉サービス」(29.2%)等がこれに続く。
 前回調査結果と比較して、全体的に回答割合が増えており、「判断能力が低下した場合の支援」については前回から+9.9ポイントと大きく増加した。

■ 図表 力を入れるべき高齢者保健福祉施策 ■



■参考図表 令和2年調査結果■



4. 在宅介護実態調査

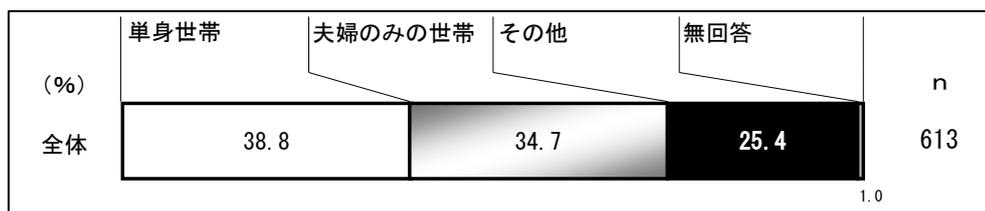
A票（本人について）

(1) 世帯構成

問2 ご本人の世帯構成を教えてください。

「単身世帯」(38.8%)、「夫婦のみの世帯」(34.7%)の合計で、73.5%を占める。

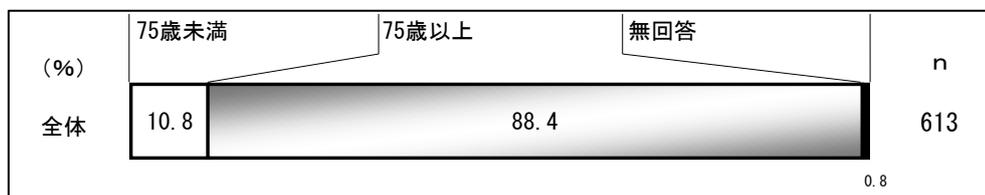
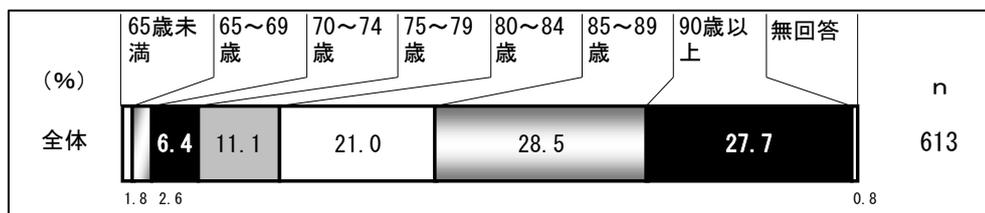
■図表 世帯構成■



(2) 年齢

問4 ご本人の年齢を教えてください。(令和5年1月1日現在)

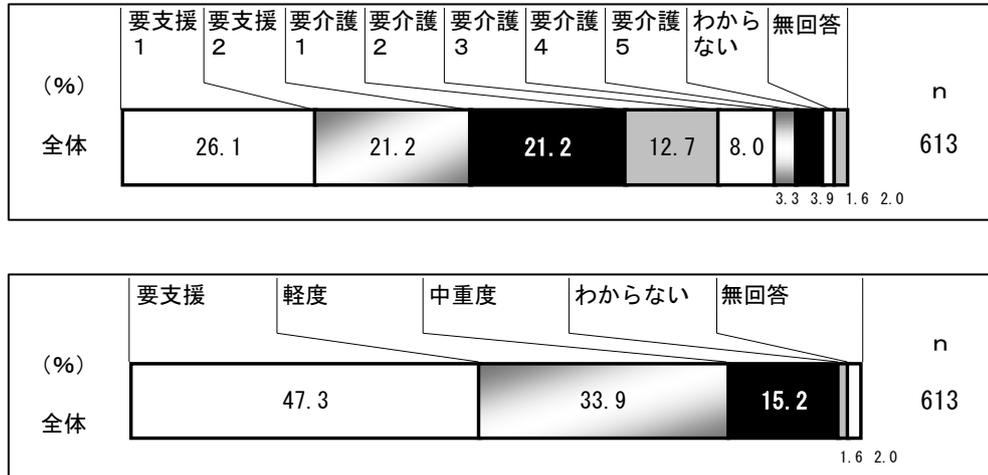
■図表 年齢■



(3) 要介護度

問5 ご本人の要介護度を教えてください。

■図表 要介護度■



(4) 介護サービス以外の支援・サービスの利用状況

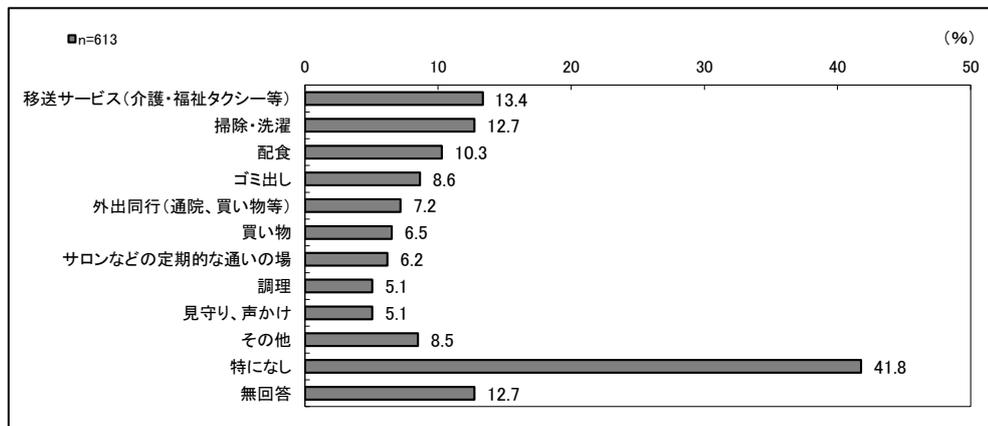
問9 現在、利用している、「介護サービス以外」の支援・サービスについて教えてください。(総合事業に基づく支援・サービスは、「介護サービス」に含めます)

【複数回答】



「特になし」(41.8%)を除くと、「移送サービス」(13.4%)が第1位。
「掃除・洗濯」(12.7%)、「配食」(10.3%)、「ゴミ出し」(8.6%)、「外出同行」(7.2%)、「買い物」(6.5%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(6.2%)、「調理」(5.1%)、「見守り、声かけ」(5.1%)がこれに続く。

■図表 介護サービス以外の支援・サービスの利用状況■



(5) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について教えてください。

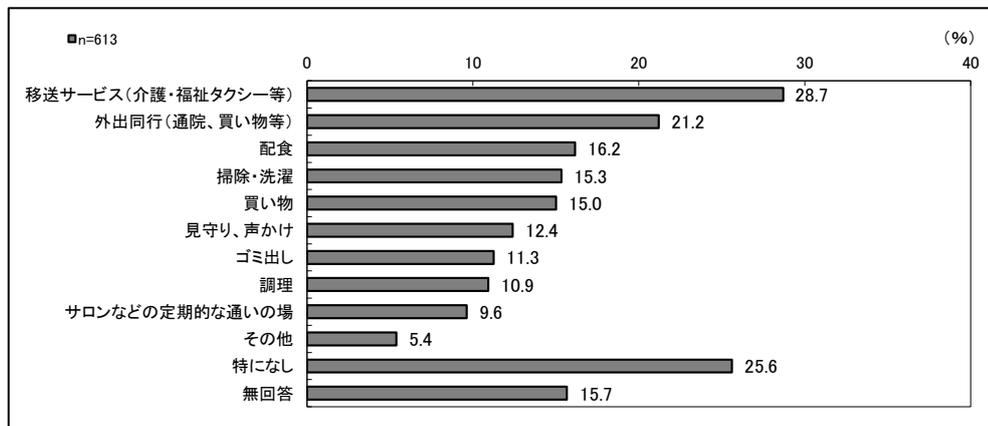
【複数回答】



「移送サービス」(28.7%) が第1位。

「外出同行」(21.2%)、「配食」(16.2%)、「掃除・洗濯」(15.3%)、「買い物」(15.0%)、「見守り、声かけ」(12.4%)、「ゴミ出し」(11.3%)、「調理」(10.9%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(9.6%) がこれに続く。

■ 図表 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス ■



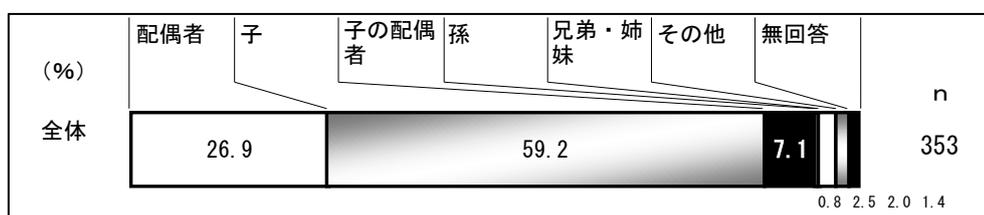
B 票（主な介護者について）

（1）主な介護者と本人の関係

問2 主な介護者の方は、ご本人（調査対象者）から見てどのような関係ですか。

「子」（59.2%）が他を大きく引き離して第1位。
 「配偶者」（26.9%）、「子の配偶者」（7.1%）、「兄弟・姉妹」（2.5%）、「孫」（0.8%）
 がこれに続く。

■図表 主な介護者と本人の関係■

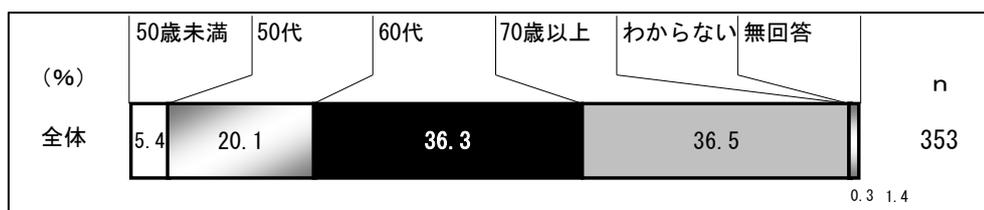
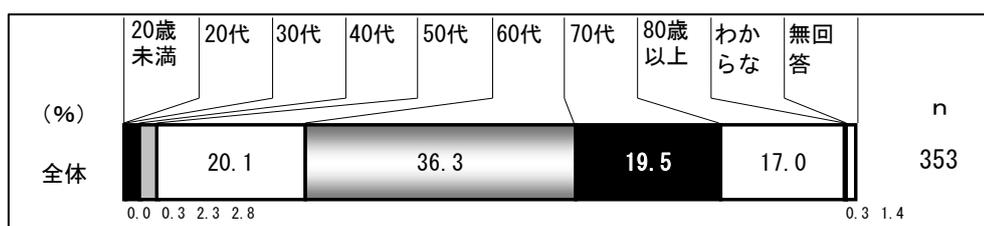


（2）主な介護者の年齢

問4 主な介護者の方の年齢を教えてください。（令和5年1月1日現在）

「60代」（36.3%）、「70歳以上」（36.5%）で、合わせて72.8%を占める。

■図表 主な介護者の年齢■

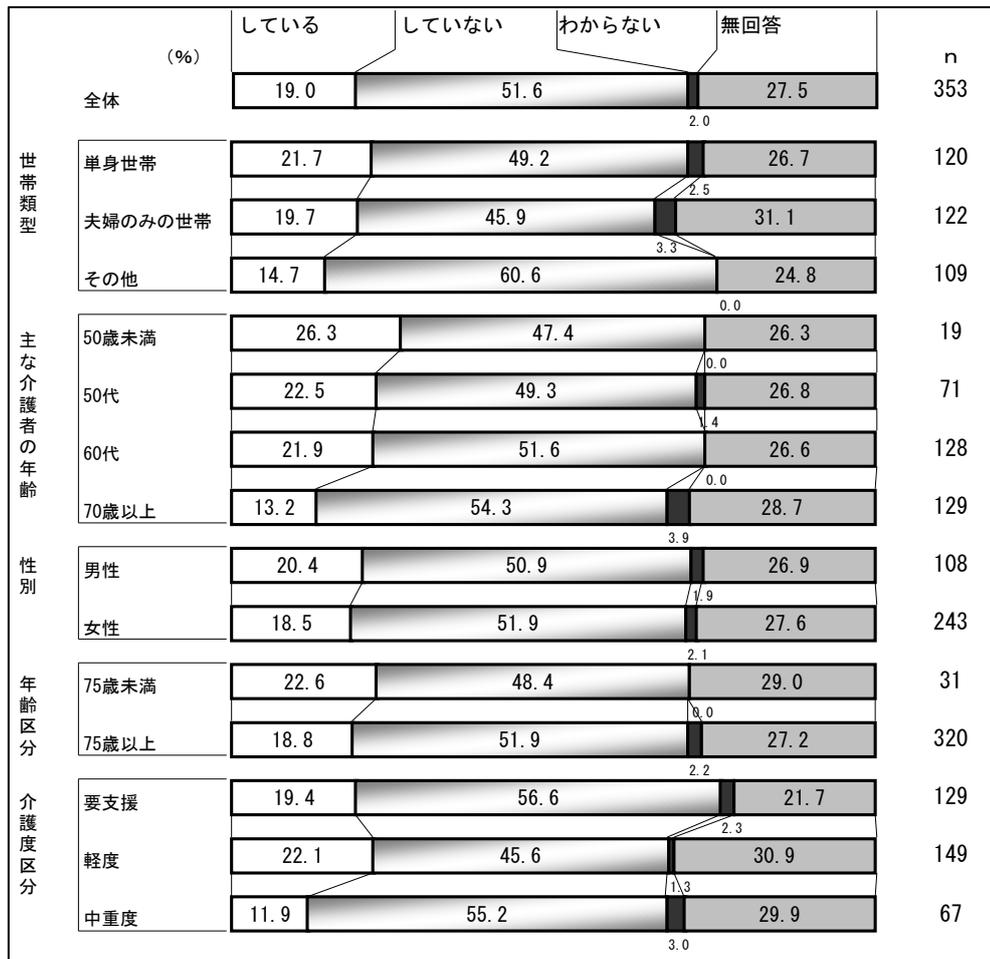


(3) 複数人の介護の有無

問6 【ダブルケアに関する質問です】主な介護者の方は、現在、複数の方の介護・お世話（親と幼児など）をしていますか。

19.0%が「している」と回答。

■図表 複数人の介護の有無■



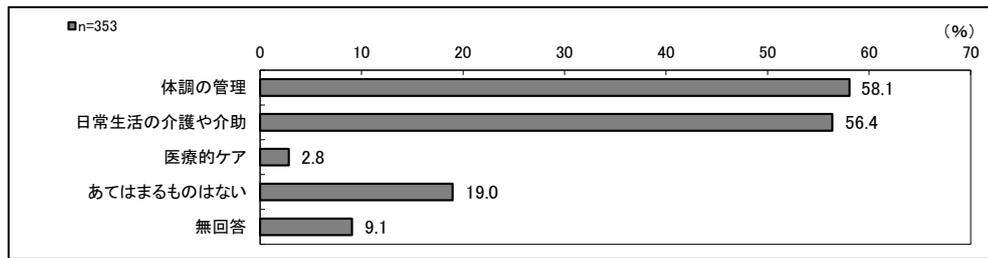
(4) 身体的介護や介助の内容

問7 主な介護者の方が介護・お世話をしている内容は何か。

① 身体的介護や介助のこと【複数回答】

「体調の管理」(58.1%)、「日常生活の介護や介助」(56.4%)、「医療的ケア」(2.8%)。

■図表 身体的介護や介助の内容■



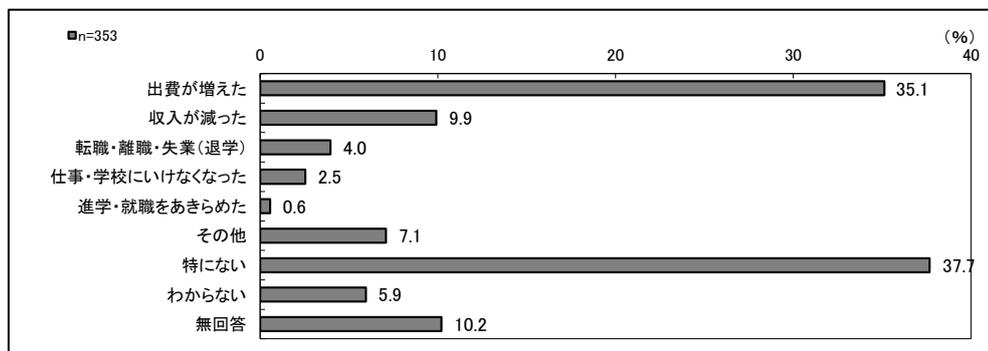
(5) 介護・お世話をすることによる生活への影響

問14 介護・お世話をすることで、主な介護者の方の生活に、以下のようなことはありましたか。【複数回答】

「出費が増えた」(35.1%) が他を大きく引き離して第1位。

「収入が減った」(9.9%)、「転職・離職・失業(退学)」(4.0%)、「仕事・学校にいけなくなった」(2.5%)、「進学・就職をあきらめた」(0.6%) がこれに続く。

■図表 介護・お世話をすることによる生活への影響■



(6) 介護を理由とした離職等の状況

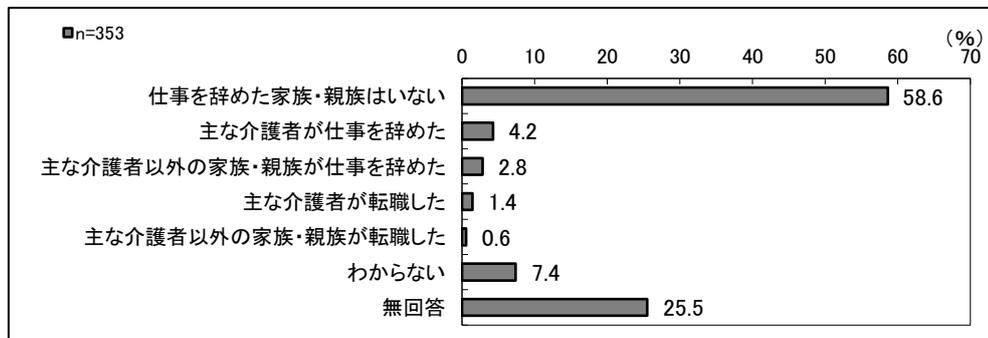
問 15 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。）【複数回答】



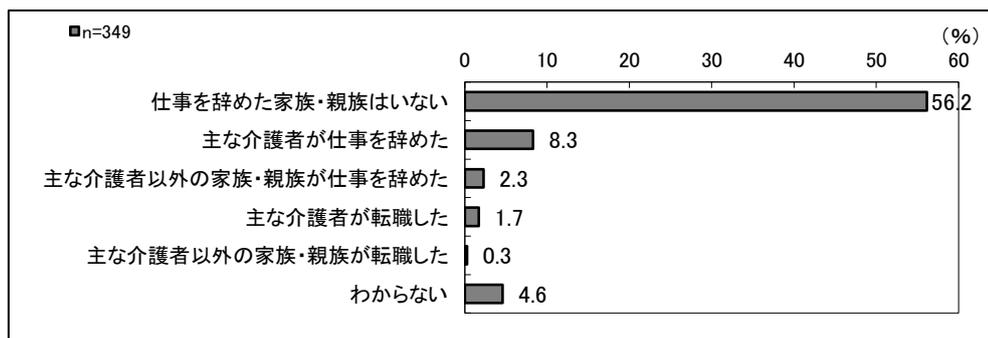
「主な介護者が仕事を辞めた」（4.2%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」（2.8%）、「主な介護者が転職した」（1.4%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.6%）。

前回調査結果と比較して、「主な介護者が仕事を辞めた」の割合が 4.1 ポイント減少している。

■図表 介護を理由とした離職等の状況■



■参考図表 令和2年調査結果■

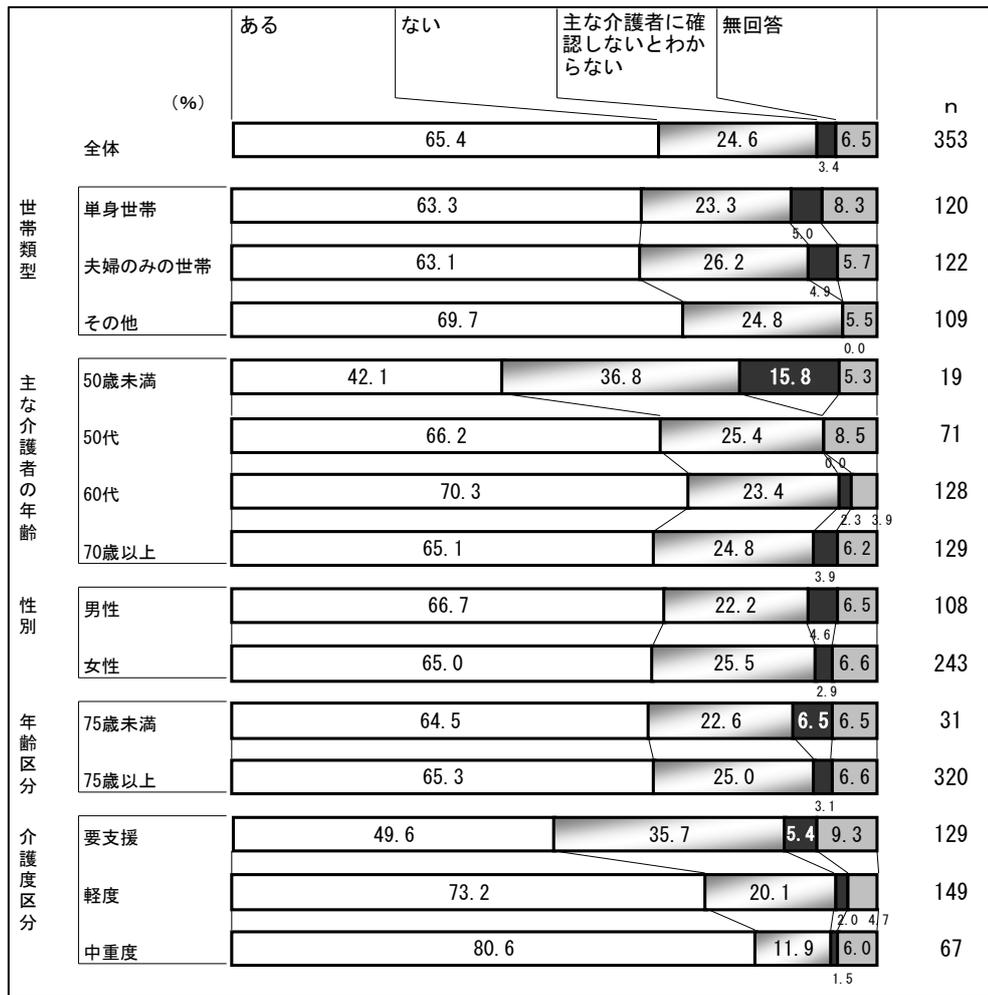


(7) 介護・お世話についての相談の有無

問 16 主な介護者の方は介護・お世話のことについて、誰（どこ）かに相談したことがありますか。

「ある」(65.4%)、「ない」(24.6%)。

■図表 介護・お世話についての相談の有無■

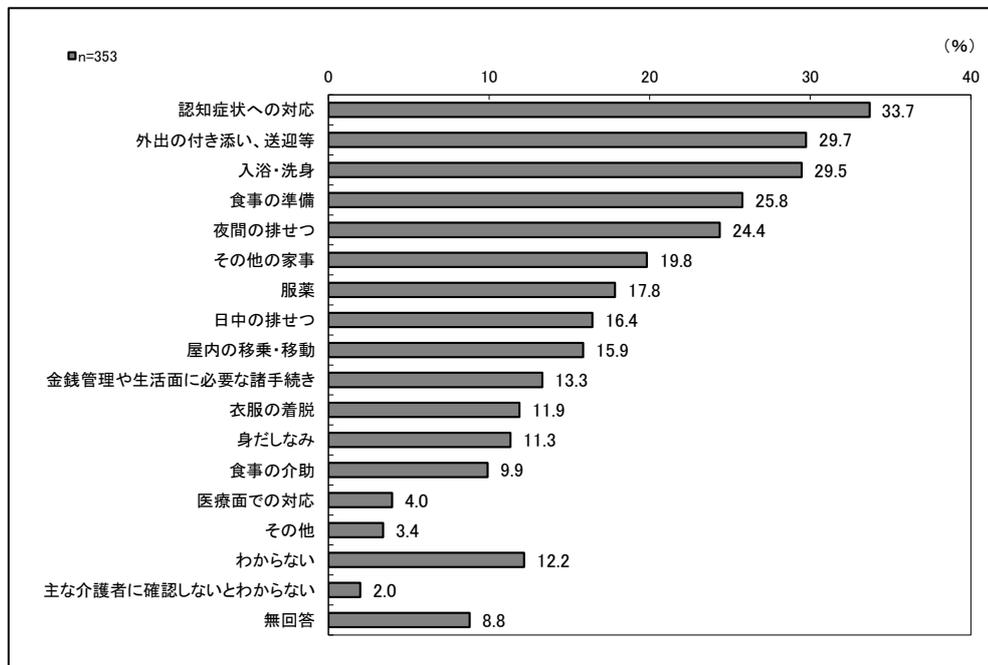


(8) 生活を継続していくにあたっての不安

問 17 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護などを教えてください。(現状で行っているか否かは問いません)【複数回答】

「認知症状への対応」(33.7%)が第1位。
「外出の付き添い、送迎等」(29.7%)、「入浴・洗身」(29.5%)、「食事の準備」(25.8%)、「夜間の排せつ」(24.4%)等がこれに続く。
介護度区分、『軽度』、『中重度』になると、『要支援』と比べて「認知症状への対応」への不安が大きく高まる。

■ 図表 生活を継続していくにあたっての不安 ■



■集計表 生活を継続していくにあたっての不安■

		合計	B問17 主な介護者が不安に感じる介護								服薬
			日中の排せつ	夜間の排せつ	食事の介助	入浴・洗身	身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	
全体		353	58	86	35	104	40	42	56	105	63
		100.0%	16.4%	24.4%	9.9%	29.5%	11.3%	11.9%	15.9%	29.7%	17.8%
世帯類型	単身世帯	120	11	21	5	28	6	11	16	27	17
		100.0%	9.2%	17.5%	4.2%	23.3%	5.0%	9.2%	13.3%	22.5%	14.2%
	夫婦のみの世帯	122	21	25	12	38	13	14	20	39	23
	100.0%	17.2%	20.5%	9.8%	31.1%	10.7%	11.5%	16.4%	32.0%	18.9%	
	その他	109	26	39	18	38	21	17	18	37	22
	100.0%	23.9%	35.8%	16.5%	34.9%	19.3%	15.6%	16.5%	33.9%	20.2%	
主な介護者の年齢	50歳未満	19	3	2	0	1	0	0	2	5	3
		100.0%	15.8%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	10.5%	26.3%	15.8%
	50代	71	7	12	4	17	5	6	9	24	11
		100.0%	9.9%	16.9%	5.6%	23.9%	7.0%	8.5%	12.7%	33.8%	15.5%
	60代	128	18	35	16	43	20	18	27	38	26
	100.0%	14.1%	27.3%	12.5%	33.6%	15.6%	14.1%	21.1%	29.7%	20.3%	
	70歳以上	129	30	37	15	41	15	18	18	36	23
	100.0%	23.3%	28.7%	11.6%	31.8%	11.6%	14.0%	14.0%	27.9%	17.8%	
性別	男性	108	22	27	12	41	18	14	19	34	22
		100.0%	20.4%	25.0%	11.1%	38.0%	16.7%	13.0%	17.6%	31.5%	20.4%
	女性	243	36	58	23	63	22	28	35	69	40
	100.0%	14.8%	23.9%	9.5%	25.9%	9.1%	11.5%	14.4%	28.4%	16.5%	
年齢区分	75歳未満	31	4	8	6	8	6	5	5	10	7
		100.0%	12.9%	25.8%	19.4%	25.8%	19.4%	16.1%	16.1%	32.3%	22.6%
	75歳以上	320	53	77	29	95	34	37	50	94	55
	100.0%	16.6%	24.1%	9.1%	29.7%	10.6%	11.6%	15.6%	29.4%	17.2%	
介護度区分	要支援	129	8	15	3	24	5	2	11	33	17
		100.0%	6.2%	11.6%	2.3%	18.6%	3.9%	1.6%	8.5%	25.6%	13.2%
	軽度	149	31	44	18	54	22	22	30	53	32
	100.0%	20.8%	29.5%	12.1%	36.2%	14.8%	14.8%	20.1%	35.6%	21.5%	
	中重度	67	16	23	13	24	12	17	14	16	11
	100.0%	23.9%	34.3%	19.4%	35.8%	17.9%	25.4%	20.9%	23.9%	16.4%	

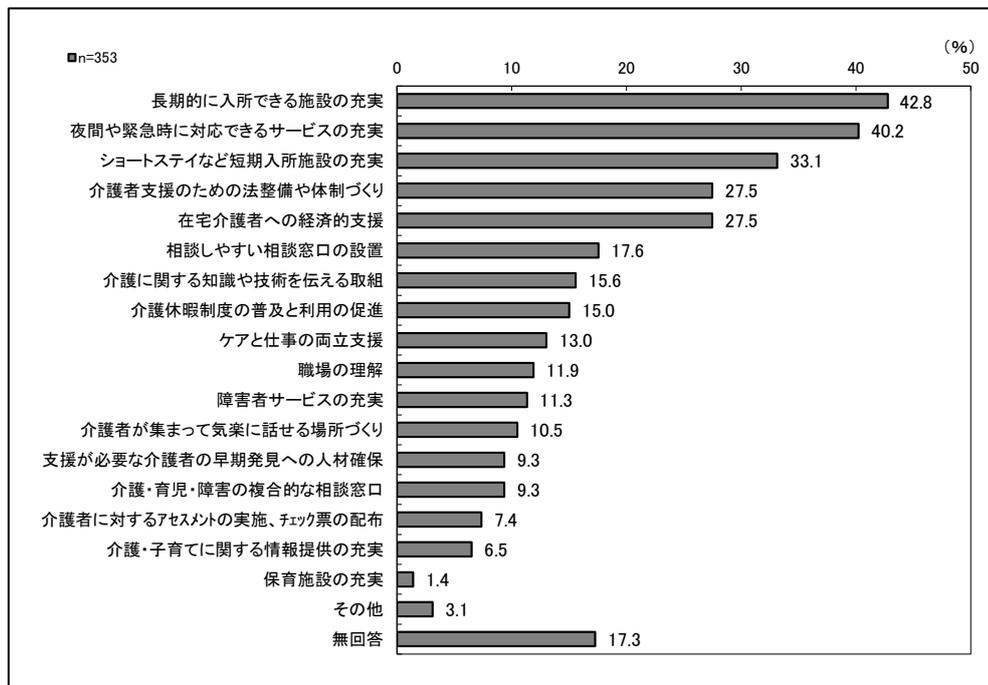
		合計	B問17									
			認知症状への対応	医療面での対応	食事の準備	その他の家事	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	わからない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答	非該当
全体		353	119	14	91	70	47	12	43	7	31	260
		100.0%	33.7%	4.0%	25.8%	19.8%	13.3%	3.4%	12.2%	2.0%	8.8%	
世帯類型	単身世帯	120	40	3	30	28	15	6	12	3	14	118
		100.0%	33.3%	2.5%	25.0%	23.3%	12.5%	5.0%	10.0%	2.5%	11.7%	
	夫婦のみの世帯	122	34	3	29	20	15	2	20	3	9	91
	100.0%	27.9%	2.5%	23.8%	16.4%	12.3%	1.6%	16.4%	2.5%	7.4%		
	その他	109	43	7	31	21	16	4	11	1	8	47
	100.0%	39.4%	6.4%	28.4%	19.3%	14.7%	3.7%	10.1%	0.9%	7.3%		
主な介護者の年齢	50歳未満	19	3	1	5	4	1	3	3	1	3	0
		100.0%	15.8%	5.3%	26.3%	21.1%	5.3%	15.8%	15.8%	5.3%	15.8%	
	50代	71	26	0	20	16	14	4	9	1	6	0
		100.0%	36.6%	0.0%	28.2%	22.5%	19.7%	5.6%	12.7%	1.4%	8.5%	
	60代	128	53	8	33	24	17	3	12	2	10	0
	100.0%	41.4%	6.3%	25.8%	18.8%	13.3%	2.3%	9.4%	1.6%	7.8%		
	70歳以上	129	36	5	33	26	14	2	19	3	9	0
	100.0%	27.9%	3.9%	25.6%	20.2%	10.9%	1.6%	14.7%	2.3%	7.0%		
性別	男性	108	32	3	28	18	17	2	12	3	9	74
		100.0%	29.6%	2.8%	25.9%	16.7%	15.7%	1.9%	11.1%	2.8%	8.3%	
	女性	243	86	11	62	52	30	10	31	4	22	183
	100.0%	35.4%	4.5%	25.5%	21.4%	12.3%	4.1%	12.8%	1.6%	9.1%		
年齢区分	75歳未満	31	7	2	8	6	5	1	4	1	2	35
		100.0%	22.6%	6.5%	25.8%	19.4%	16.1%	3.2%	12.9%	3.2%	6.5%	
	75歳以上	320	111	12	83	64	42	11	39	6	29	222
	100.0%	34.7%	3.8%	25.9%	20.0%	13.1%	3.4%	12.2%	1.9%	9.1%		
介護度区分	要支援	129	25	4	26	27	16	3	25	4	17	161
		100.0%	19.4%	3.1%	20.2%	20.9%	12.4%	2.3%	19.4%	3.1%	13.2%	
	軽度	149	62	10	46	31	21	6	9	2	8	59
	100.0%	41.6%	6.7%	30.9%	20.8%	14.1%	4.0%	6.0%	1.3%	5.4%		
	中重度	67	30	0	17	12	8	3	9	1	4	26
	100.0%	44.8%	0.0%	25.4%	17.9%	11.9%	4.5%	13.4%	1.5%	6.0%		

(9) 介護者を支えるために必要な支援策

問 18 主な介護者の方を含めてお世話をしている人を支えるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

「長期的に入所できる施設の充実」(42.8%)が第1位。
 「夜間や緊急時に対応できるサービスの充実」(40.2%)、「ショートステイなど短期入所施設の充実」(33.1%)、「介護者支援のための法整備や体制づくり」(27.5%)、「在宅介護者への経済的支援」(27.5%)等がこれに続く。

■図表 介護者を支えるために必要な支援策■

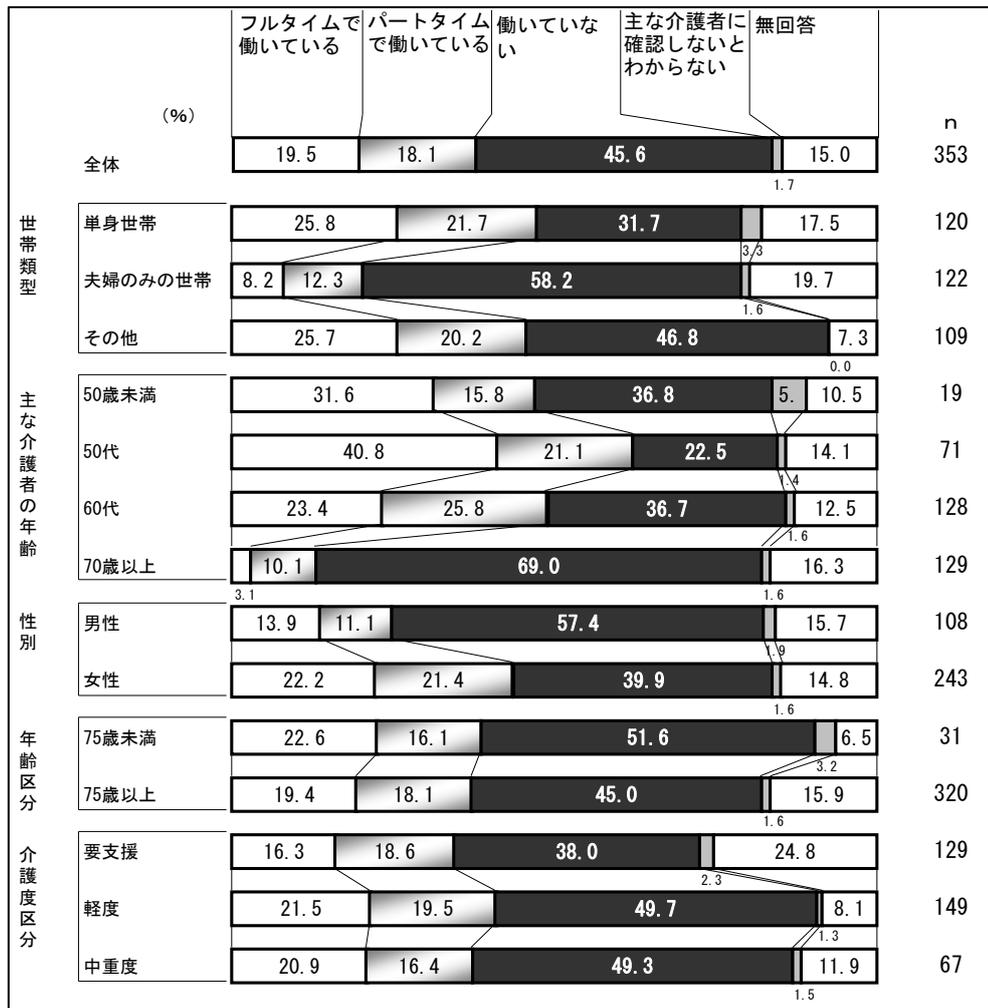


(10) 主な介護者の勤務形態

問 19 主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください。

「働いていない」(45.6%)、「フルタイムで働いている」(19.5%)、「パートタイムで働いている」(18.1%)。

■図表 主な介護者の勤務形態■



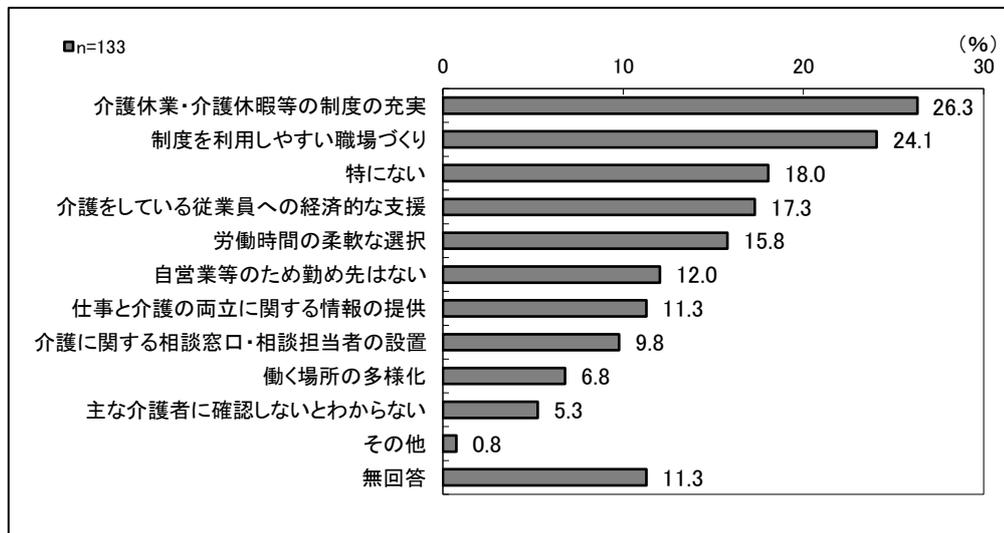
(11) 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

※ 問 19 で「1.フルタイムで働いている」または「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。

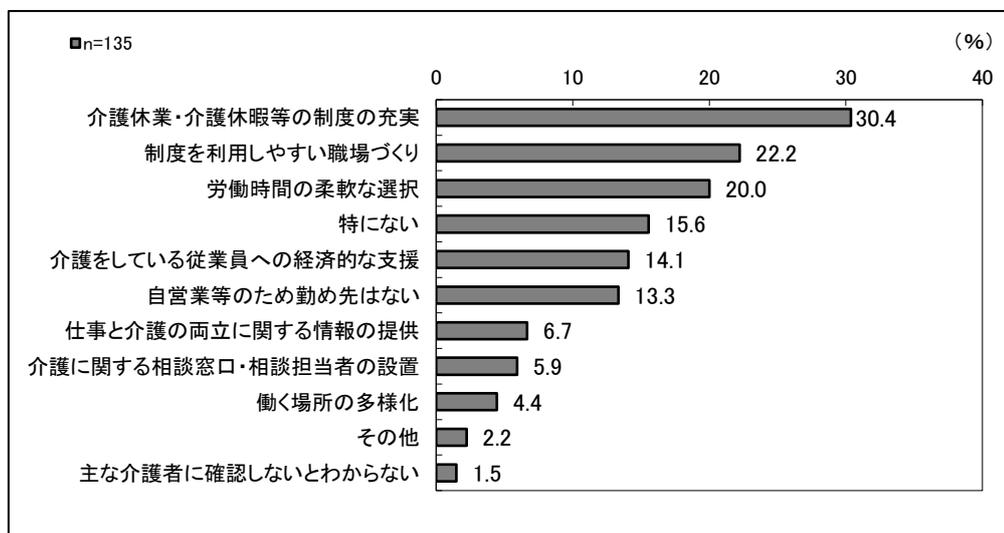
問 19-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【複数回答】

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(26.3%)が第1位。
 「制度を利用しやすい職場づくり」(24.1%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(17.3%)、「労働時間の柔軟な選択」(15.8%)等がこれに続く。
 前回調査結果と比較しても、大きな傾向の変化はみられない。

■図表 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援■



■参考図表 令和2年調査結果■



5. 事業所における介護労働実態調査

(1) 全従業員数と介護保険事業従事者の数

問3 貴事業者の全従業員数は何人ですか。

そのうち、介護保険の指定介護サービス事業に少しでも従事する従業員は何人ですか。人数を記入してください（市内事業所に限ります）。

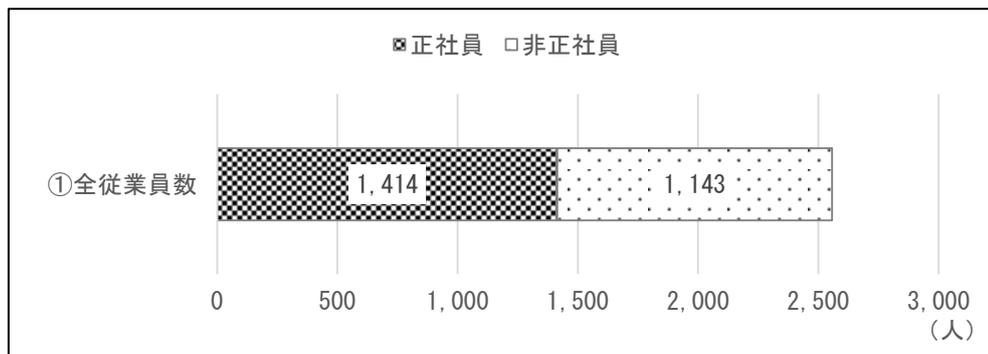
①全体（正社員 55.3%：非正社員 44.7%）

②介護サービス事業従事者（正社員 54.1%：非正社員 45.9%）

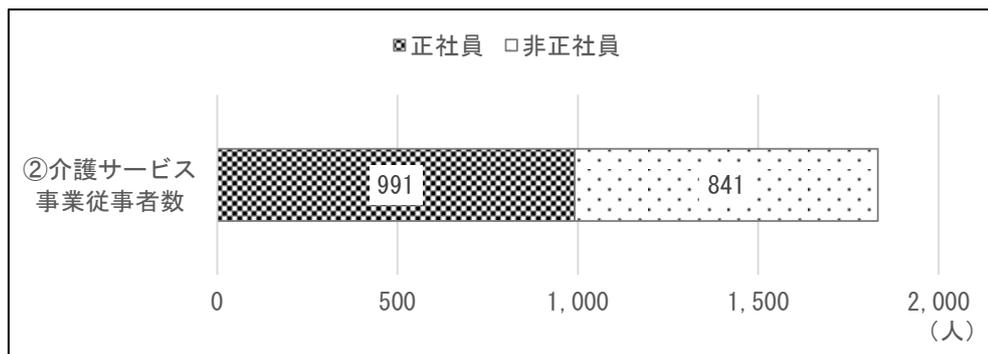
③訪問介護員（正社員 43.6%：非正社員 56.4%）

『③訪問介護員』については、「非正社員」の割合が「正社員」よりも高い。

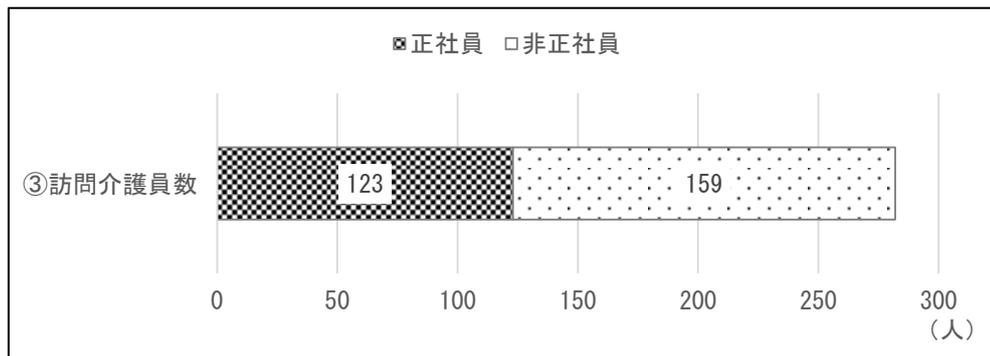
■図表 全従業員数と介護保険事業従事者の数（1）■



■図表 全従業員数と介護保険事業従事者の数（2）■



■図表 全従業員数と介護保険事業従事者の数（3）■

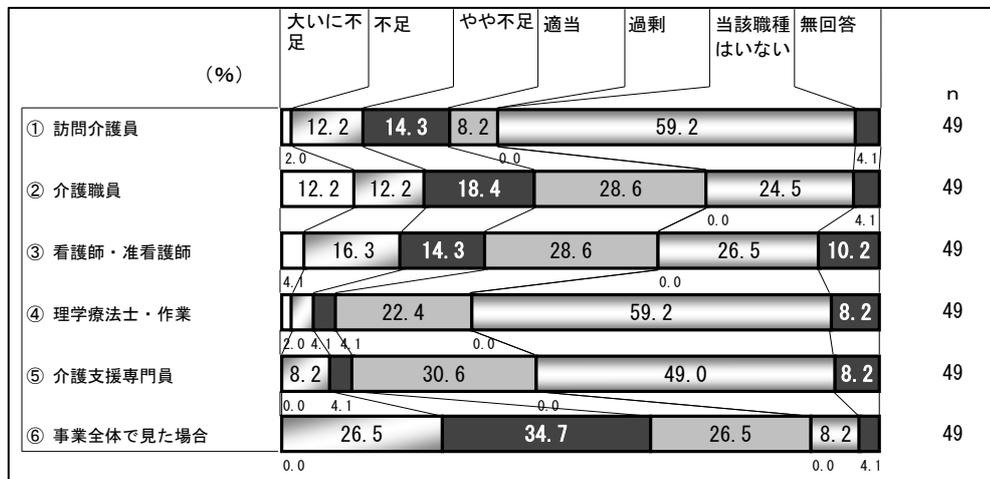


(2) 従業員の職種別過不足の状況

問6 貴事業者における従業員の職種別の過不足の状況はどうか。

不足傾向がみられるのは、『①訪問介護員』、『②介護職員』、『③看護師・准看護師』。
すべての職種において「過剰」の割合は0.0%

■図表 従業員の職種別過不足の状況■



(3) 従業員が不足している理由

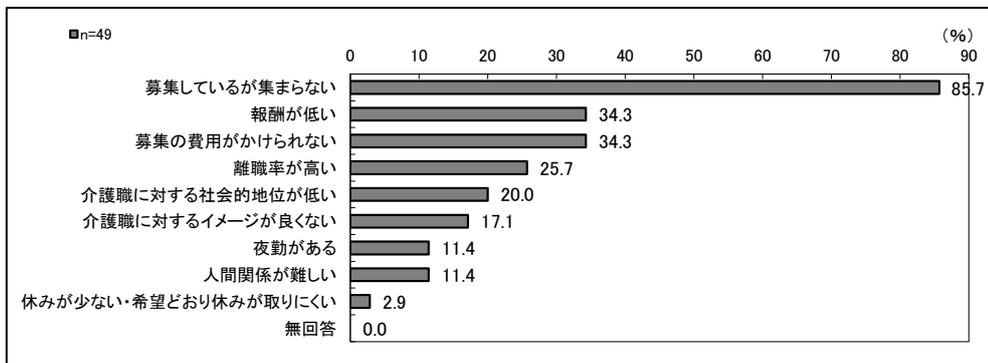
※ 問6で、いずれかの職種に関して「大いに不足」「不足」「やや不足」と回答した事業者の方にお聞きします。

問6-1 従業員が不足している理由についてお答えください。【複数回答】

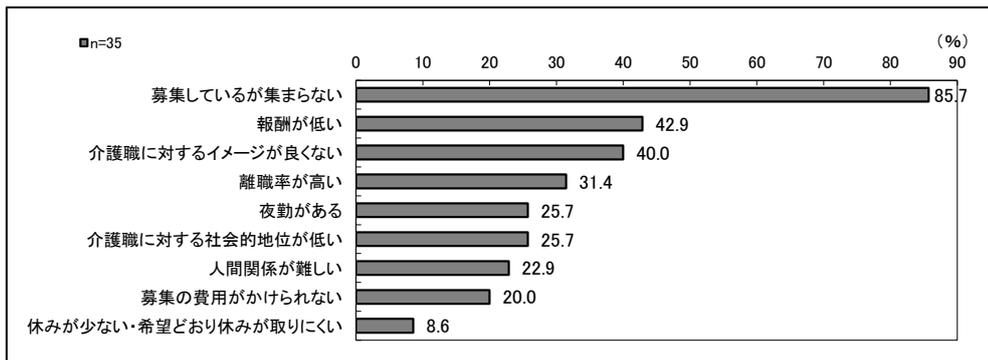


「募集しているが集まらない」(85.7%)が他を大きく引き離して第1位。
 「報酬が低い」(34.3%)、「募集の費用がかけられない」(34.3%)、「離職率が高い」(25.7%)、「介護職に対する社会的地位が低い」(20.0%)等がこれに続く。
 前回調査結果と比較して、「募集の費用がかけられない」が+14.3ポイントと大きく増加している。

■図表 従業員が不足している理由■



■参考図表 令和2年調査結果■



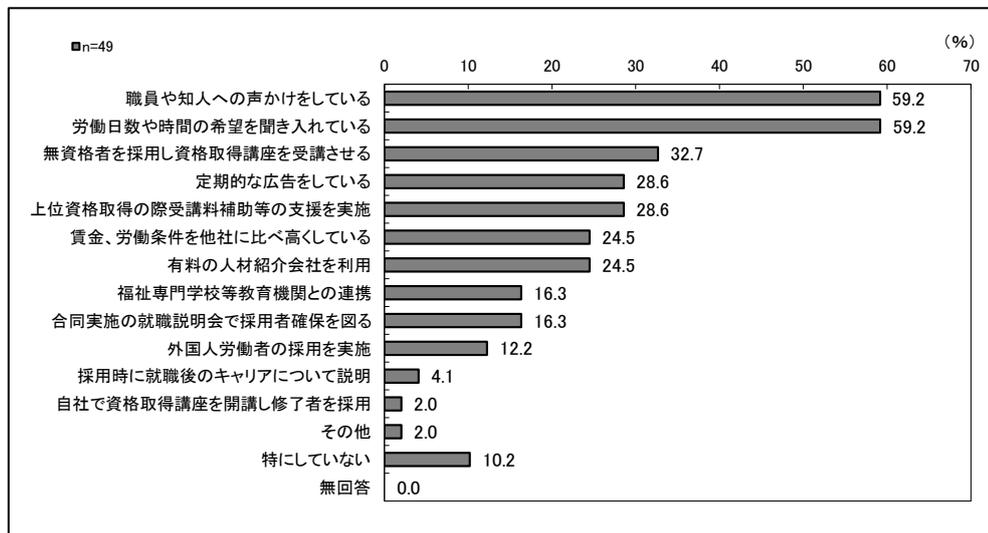
(4) 人材確保のための取組みについて

問7 貴事業者で、人材確保のために取り組んでいることはありますか。【複数回答】

「職員や知人への声かけをしている」(59.2%)、「労働日数や時間の希望を聞き入れている」(59.2%)が同率1位。

「無資格者を採用し資格取得講座を受講させる」(32.7%)、「定期的な広告をしている」(28.6%)、「上位資格取得の際受講料補助等の支援を実施」(28.6%)、「賃金、労働条件を他社に比べ高くしている」(24.5%)、「有料の人材紹介会社を利用」(24.5%)等がこれに続く。

■図表 人材確保のための取組みについて■



(5) 訪問介護員及び介護職員採用後の基本給見直しについて

問 11 貴事業者では、採用後に職員の働きぶりや能力などにより基本給を見直していますか。【「なし」、「あり」のいずれかに回答】
また、見直している場合は、どのような要素を考慮していますか。【複数回答】

- 基本給の見直しの有無
「あり」の割合は、『正社員』の方が『非正社員』よりも高い。また、『介護職員』の方が『訪問介護員』よりも高い。
- 基本給見直しの要素
「業務遂行能力」及び「勤続年数」が重視される。

■ 図表 訪問介護員及び介護職員採用後の基本給見直しについて（無回答除く） ■

		（%）		
		なし	あり	n
訪問 介護 員	① 正社員	35.0	65.0	20
	② フルタイム	44.4	55.6	18
	③ パート	43.8	56.3	16
介護 職員	④ 正社員	27.8	72.2	36
	⑤ フルタイム	36.7	63.3	30
	⑥ パート	35.5	64.5	31

■ 図表 訪問介護員及び介護職員採用後の基本給見直しについて（無回答含む） ■

		（%）			
		なし	あり	無回答	n
訪問 介護 員	① 正社員	14.3	26.5	59.2	49
	② フルタイム	16.3	20.4	63.3	49
	③ パート	14.3	18.4	67.3	49
介護 職員	④ 正社員	20.4	53.1	26.5	49
	⑤ フルタイム	22.4	38.8	38.8	49
	⑥ パート	22.4	40.8	36.7	49

■図表 見直しの要素■

(%)

		n	勤務年数	稼働時間	職務能力遂行	年齢	役職	資格取得	その他
訪問介護員	正社員	14	57.1	14.3	71.4	21.4	42.9	50.0	0.0
	非正社員（フルタイム）	9	44.4	22.2	77.8	0.0	11.1	66.7	0.0
	非正社員（パート）	8	37.5	25.0	87.5	0.0	12.5	62.5	0.0
介護職員	正社員	25	60.0	20.0	72.0	24.0	64.0	60.0	8.0
	非正社員（フルタイム）	17	58.8	23.5	88.2	11.8	29.4	70.6	0.0
	非正社員（パート）	20	60.0	25.0	75.0	10.0	25.0	65.0	5.0

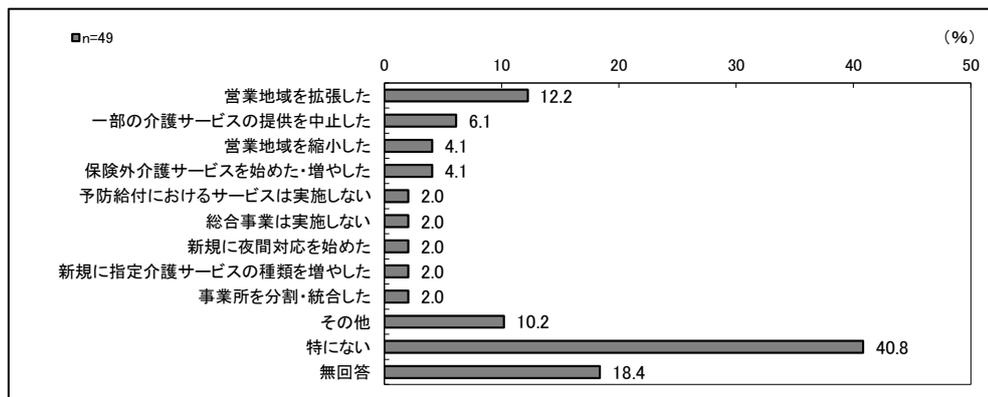
(6) 経営の効率面での対応

問 18 経営の効率面での対応として、実施したことは何ですか。【複数回答】

40.8%が「特にない」と回答。

「営業地域を拡張した」（12.2%）、「一部の介護サービスの提供を中止した」（6.1%）、「営業地域を縮小した」（4.1%）、「保険外介護サービスを始めた・増やした」（4.1%）等がこれに続く。

■図表 経営の効率面での対応■



(7) 従業員の定着状況について

問 20 貴事業者では、従業員の定着状況に関して、どのように考えていますか。

「定着率は低くない」(55.1%)、「定着率が低く困っている」(22.4%)、「定着率は低い
が特に困っていない」(12.2%)。

■図表 従業員の定着状況■

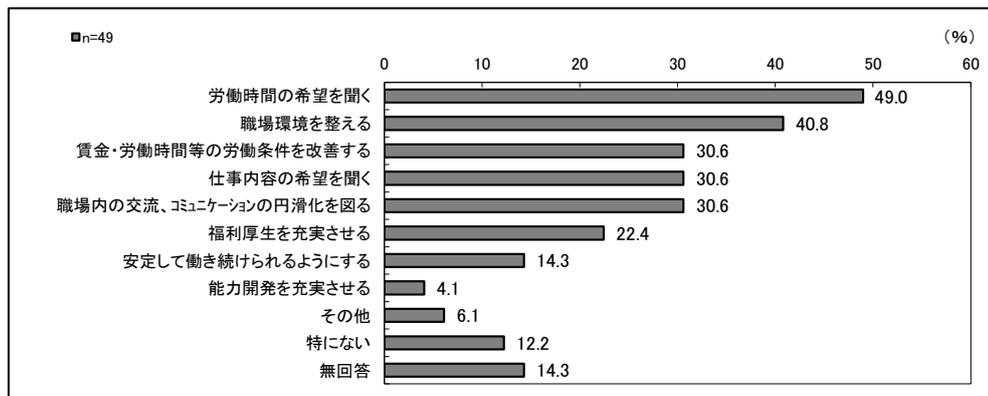
(%)	定着率が低く 困っている	定着率は低い が特に困って いない	定着率は低く ない	無回答	n
全体	22.4	12.2	55.1	10.2	49

(8) 介護職員の定着促進のための方策

問 21 貴事業者では、直接介護にあたる職員の早期離職の防止や定着促進を図るため
に、どのような方策を取っていますか。【複数回答】

「労働時間の希望を聞く」(49.0%) が第1位。
「職場環境を整える」(40.8%)、「賃金・労働時間等の労働条件を改善する」(30.6%)、
「仕事内容の希望を聞く」(30.6%)、「職場内の交流、コミュニケーションの円滑化を図る」
(30.6%)、「福利厚生を充実させる」(22.4%)、「安定して働き続けられるようにする」
(14.3%)、「能力開発を充実させる」(4.1%) 等がこれに続く。

■図表 介護職員の定着促進のための方策■

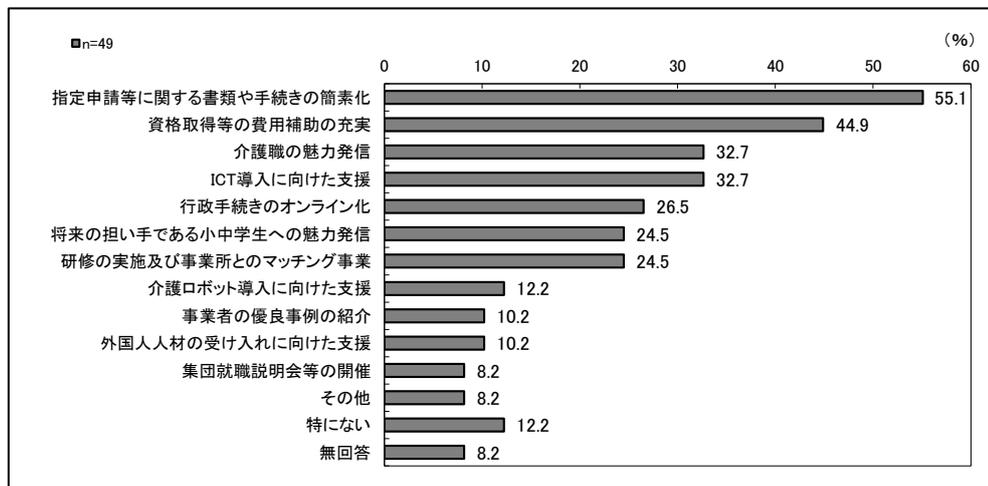


(9) 人材確保・負担軽減に関する国や行政への要望

問 23 人材確保・負担軽減に関して国や行政に要望することは何ですか。【複数回答】

「指定申請等に関する書類や手続きの簡素化」(55.1%)が第1位。
「資格取得等の費用補助の充実」(44.9%)、「介護職の魅力発信」(32.7%)、「ICT導入に向けた支援」(32.7%)、「行政手続きのオンライン化」(26.5%)、「将来の担い手である小中学生への魅力発信」(24.5%)、「研修の実施及び事業所とのマッチング事業」(24.5%)、等がこれに続く。

■図表 人材確保・負担軽減に関する国や行政への要望■

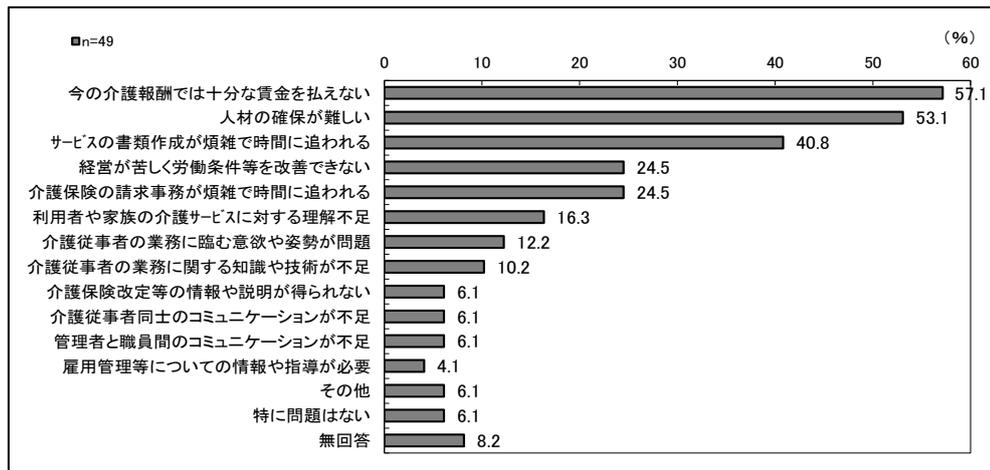


(10) 指定介護サービス事業を運営する上での問題点

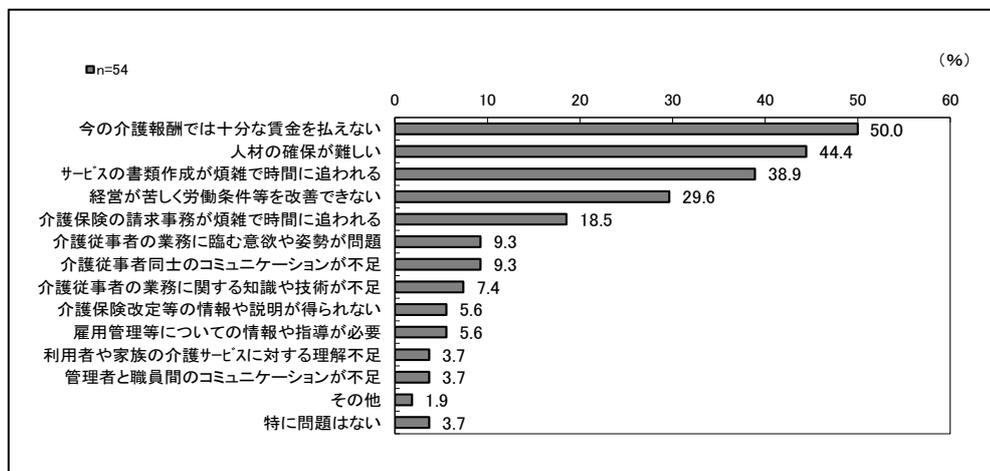
問 24 介護保険の指定介護サービス事業を運営する上での問題点として、あてはまるものをご回答ください。【複数回答】

「今の介護報酬では十分な賃金を払えない」(57.1%)、「人材の確保が難しい」(53.1%)、「サービスの書類作成が煩雑で時間に追われる」(40.8%)に回答が集まる。
 「経営が苦しく労働条件等を改善できない」(24.5%)、「介護保険の請求事務が煩雑で時間に追われる」(24.5%)、「利用者や家族の介護サービスに対する理解不足」(16.3%)等がこれに続く。
 前回調査結果と比較して、全体的な傾向としては大きな変化はみられないものの、回答の過半数となった「今の介護報酬では十分な賃金を払えない」、「人材の確保が難しい」への回答は大きく増加しており、経営環境の厳しさが増していることがうかがえる。

■図表 指定介護サービス事業を運営する上での問題点■



■参考図表 令和2年調査結果■



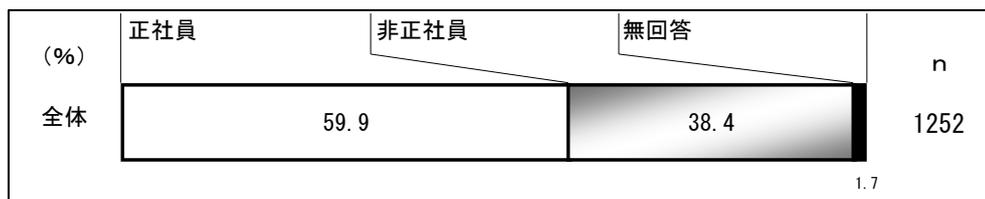
6. 介護労働者の就業実態と就業意識調査

(1) 就業形態

問8 あなたの就業形態はどれですか。

「正社員」(59.9%)、「非正社員」(38.4%)。

■図表 就業形態■



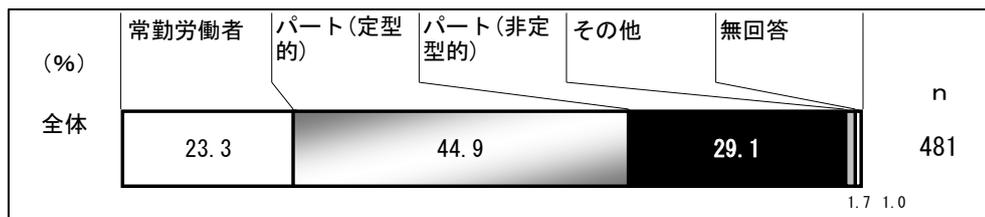
(2) 勤務形態

※ 問8で「2. 非正社員」と回答した方にお聞きします。

問8-1 あなたの勤務形態をお答えください。

「パート(定型的)」(44.9%)、「パート(非定型的)」(29.1%)、「常勤労働者」(23.3%)。

■図表 勤務形態■



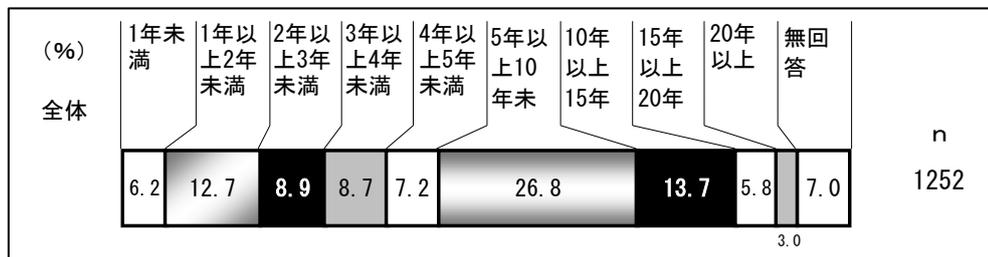
(3) 現在の事業所での勤続年数

問9 あなたの現在の事業所での勤務年数をお答えください。(令和5年1月1日現在)

「5年以上10年未満」(26.8%)、「10年以上15年未満」(13.7%)、「1年以上2年未満」(12.7%)、「2年以上3年未満」(8.9%)、「3年以上4年未満」(8.7%)、「4年以上5年未満」(7.2%)、「1年未満」(6.2%)、「15年以上20年未満」(5.8%)、「20年以上」(3.0%)。

現在の事業所での勤続年数『5年未満』が43.7%、『5年以上』が49.3%。

■図表 現在の事業所での勤続年数■



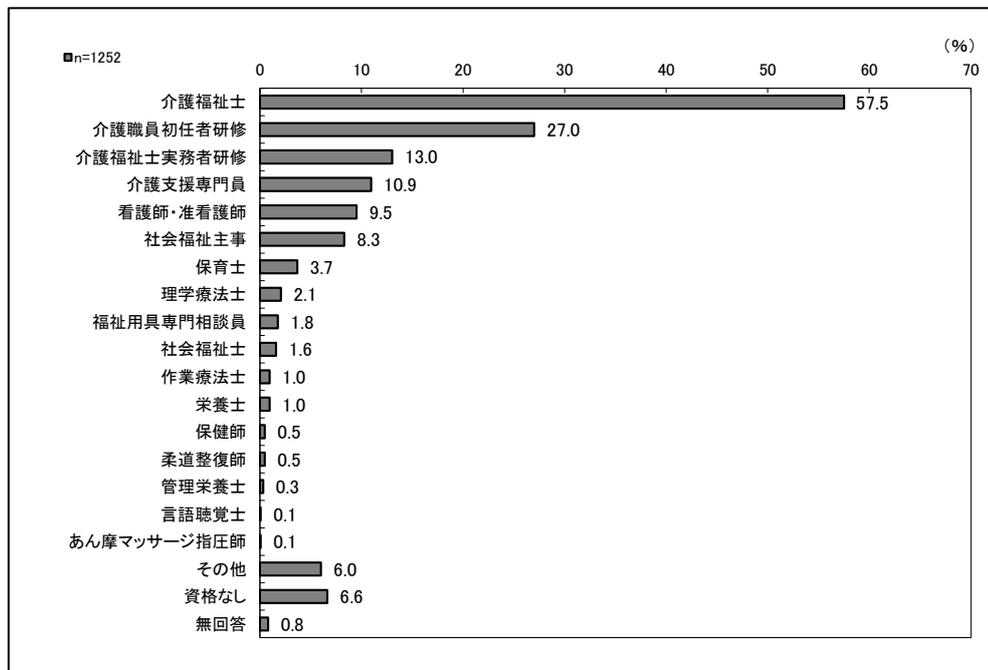
(4) 現在持っている資格

問 10 あなたが現在持っている資格は何ですか。【複数回答】



「介護福祉士」(57.5%)で他を大きく引き離して第1位。
「介護職員初任者研修」(27.0%)、「介護福祉士実務者研修」(13.0%)、「介護支援専門員」(10.9%)、「看護師・准看護師」(9.5%)、「社会福祉主事」(8.3%)、「保育士」(3.7%)、「理学療法士」(2.1%)、「福祉用具専門相談員」(1.8%)、「社会福祉士」(1.6%)がこれに続く。
年齢が上がっても、「介護福祉士」の割合は大きくは増えない。

■ 図表 現在持っている資格 ■



■集計表 現在持っている資格（全体・属性別）■

		合計	問10 現在持っている資格										
			介護職員 初任者研 修	介護福祉 士実務者 研修	介護福祉 士	社会福祉 士	作業療法 士	理学療法 士	言語聴覚 士	社会福祉 士専 事	看護師・ 准看護師		
全体		1252	338	163	720	20	12	26	1	104	119		
性別													
	男性	255	58	32	147	7	4	14	0	35	4		
	女性	984	277	128	569	13	8	12	1	68	115		
年齢													
	10代	5	3	2	3	0	0	0	0	0	0		
	20代	126	33	23	73	0	3	4	1	6	3		
	30代	225	49	35	146	4	6	12	0	28	12		
	40代	307	68	35	187	10	3	8	0	36	33		
	50代	279	84	44	171	4	0	0	0	20	31		
	60代	201	72	16	98	2	0	0	0	9	23		
	70歳以上	48	13	0	16	0	0	0	0	1	4		
主たる生計維持者													
	自分	742	201	103	441	14	6	16	1	68	54		
	自分以外	473	126	54	263	6	5	9	0	35	61		
	その他	20	4	0	9	0	1	0	0	4	4		
就業形態													
	正社員	750	158	106	496	16	10	23	0	78	69		
	非正社員	481	174	55	213	4	2	2	0	24	49		
勤務形態													
	常勤労働者	112	44	18	57	0	0	0	0	6	3		
	パート(定型的)	216	71	24	91	2	2	2	0	9	30		
	パート(非定型的)	140	54	12	60	2	0	0	0	8	14		
	その他	8	0	0	3	0	0	0	0	0	0		
満足度 職業生活全体													
	満足	71	11	10	30	0	1	3	0	4	7		
	やや満足	140	30	25	73	6	4	6	1	18	16		
	普通	687	214	93	389	8	7	15	0	44	66		
	やや不満足	226	51	21	148	5	0	2	0	29	25		
	不満足	102	24	12	68	1	0	0	0	8	5		

		合計	問10 介護支援 専門員	栄養士	管理栄養 士	保健師	保育士	福祉用具 専門相談 員	柔道整復 師	あん摩 マッサージ 指圧師	その他	資格なし	無回答
全体		1252	137	12	4	6	46	22	6	1	75	83	10
性別													
	男性	255	35	0	1	0	6	10	6	1	10	26	1
	女性	984	102	12	3	6	39	12	0	0	62	55	8
年齢													
	10代	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20代	126	3	1	1	0	0	1	1	0	2	21	0
	30代	225	23	1	1	1	13	6	2	0	9	11	2
	40代	307	48	4	1	2	12	5	2	0	12	16	0
	50代	279	37	2	0	1	11	6	0	0	21	12	2
	60代	201	19	3	0	0	10	2	1	0	20	11	2
	70歳以上	48	4	0	0	1	0	1	0	1	7	9	3
主たる生計維持者													
	自分	742	94	7	3	3	30	18	6	1	45	49	5
	自分以外	473	42	5	1	3	15	3	0	0	27	32	4
	その他	20	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
就業形態													
	正社員	750	108	8	4	2	29	18	5	0	40	35	3
	非正社員	481	27	3	0	4	17	3	1	1	35	47	5
勤務形態													
	常勤労働者	112	6	0	0	0	6	0	1	0	8	10	0
	パート(定型的)	216	16	1	0	3	5	2	0	0	13	20	2
	パート(非定型的)	140	5	2	0	1	6	1	0	1	13	15	3
	その他	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
満足度 職業生活全体													
	満足	71	10	0	1	0	1	2	1	0	4	11	0
	やや満足	140	27	3	1	2	7	6	1	0	9	8	1
	普通	687	68	7	2	3	21	10	3	1	39	42	3
	やや不満足	226	23	0	0	1	13	3	1	0	12	10	3
	不満足	102	8	1	0	0	3	1	0	0	6	10	1

(5) 今後取得したい資格

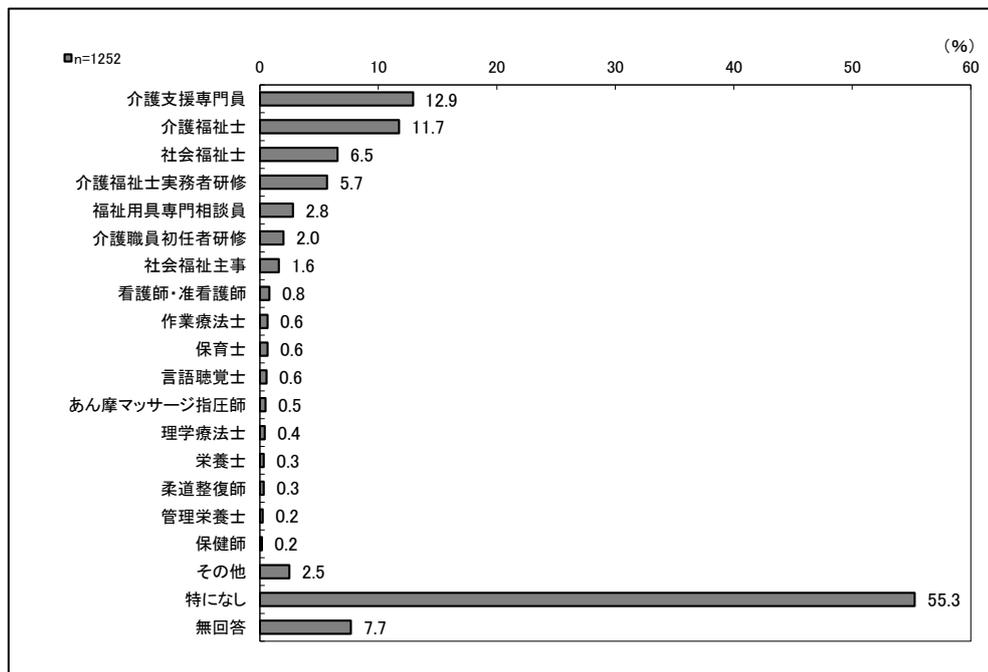
問 11 あなたが今後取得したいと考えている資格は何ですか。【複数回答】

55.3%が「特になし」と回答。

上記を除くと、「介護支援専門員」(12.9%)が第1位。

「介護福祉士」(11.7%)、「社会福祉士」(6.5%)、「介護福祉士実務者研修」(5.7%)
等がこれに続く。

■ 図表 今後取得したい資格 ■

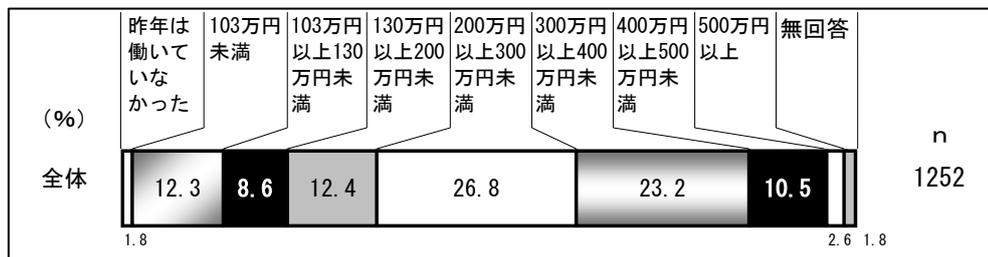


(6) 昨年の年収

問 17 昨年1年間（令和4年1月1日～12月31日）の年間収入（税込、賞与、残業代等を全て含みます）について、ご回答ください。

「103万円未満」（12.3%）、
 「103万円以上130万円未満」（8.6%）。
 『300万円未満』が、合わせて60.1%。

■図表 昨年の年収■

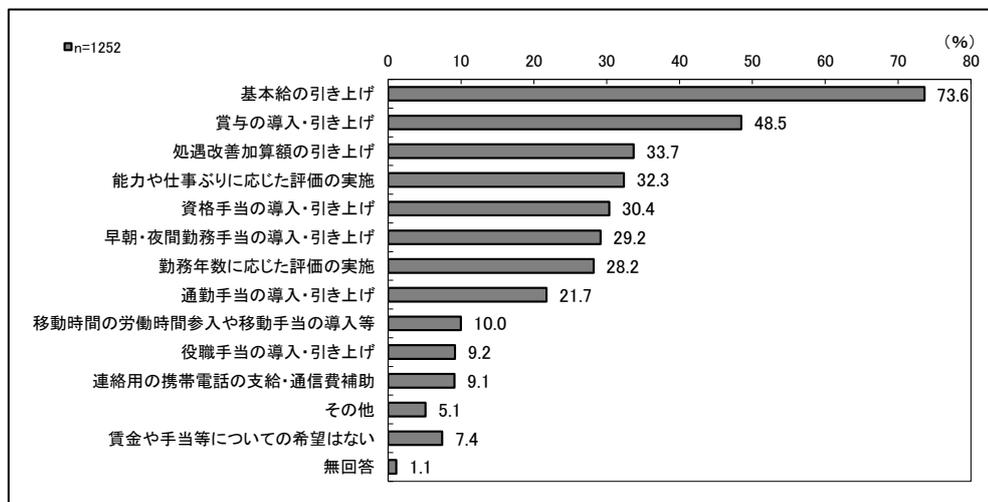


(7) 賃金や手当等についての希望

問 18 賃金や手当等についてどのような希望をお持ちですか。【複数回答】

「基本給の引き上げ」（73.6%）が、他を大きく引き離して第1位。
 「賞与の導入・引き上げ」（48.5%）、「処遇改善加算額の引き上げ」（33.7%）、「能力や仕事ぶりに応じた評価の実施」（32.3%）等がこれに続く。

■図表 賃金や手当等についての希望■



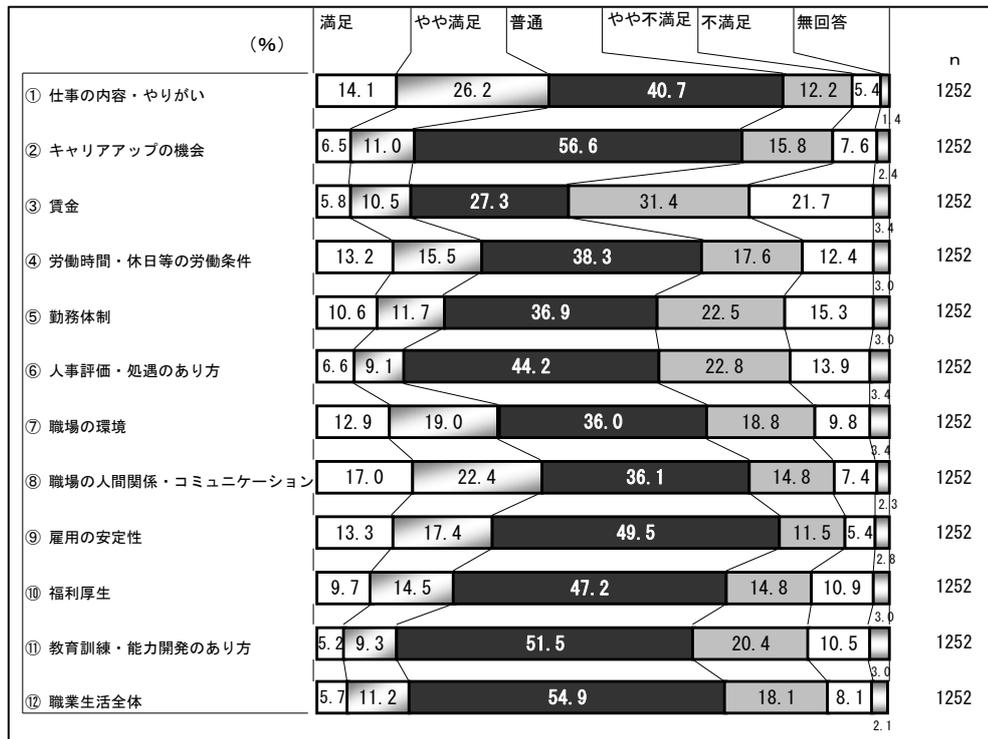
(8) 現在の仕事の満足度

問 20 現在の仕事の満足度についてお答えください。

「満足」、「やや満足」の割合が比較的高かったのは『①仕事の内容・やりがい』、『⑧職場の人間関係・コミュニケーション』。

「不満足」、「やや不満足」の割合が高かったのは、『③賃金』

■ 図表 現在の仕事の満足度 ■



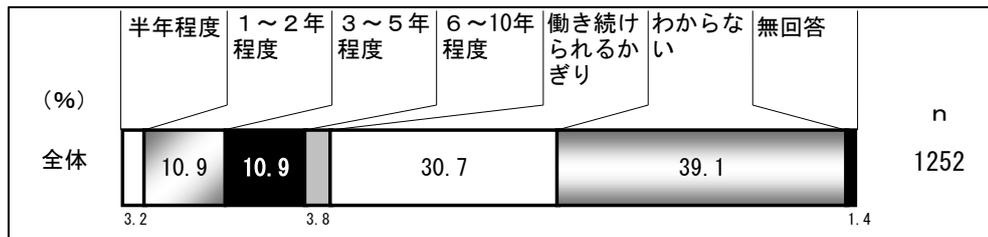
(9) 今の勤務先にいつまで勤めたいか

問 23 今の勤務先にいつまで勤めたいですか。



「半年程度」(3.2%)、「1～2年程度」(10.9%)、「3～5年程度」(10.9%)が、合わせて25.0%。4人に1人が『5年程度の範囲内』で回答。

■図表 今の勤務先にいつまで勤めたいか■

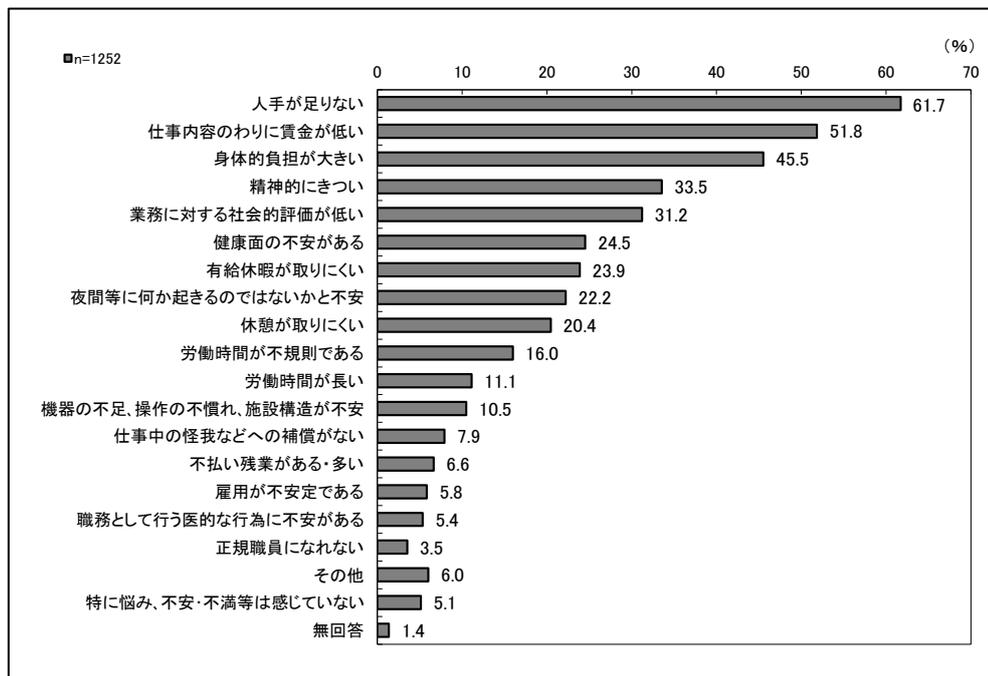


(10) 労働条件等についての悩み・不安・不満等

問 24 現在、あなたが労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか。【複数回答】

「人手が足りない」(61.7%)が第1位。
「仕事内容のわりに賃金が低い」(51.8%)、「身体的負担が大きい」(45.5%)、「精神的にきつい」(33.5%)、「業務に対する社会的評価が低い」(31.2%)等がこれに続く。

■ 図表 労働条件等についての悩み・不安・不満等 ■



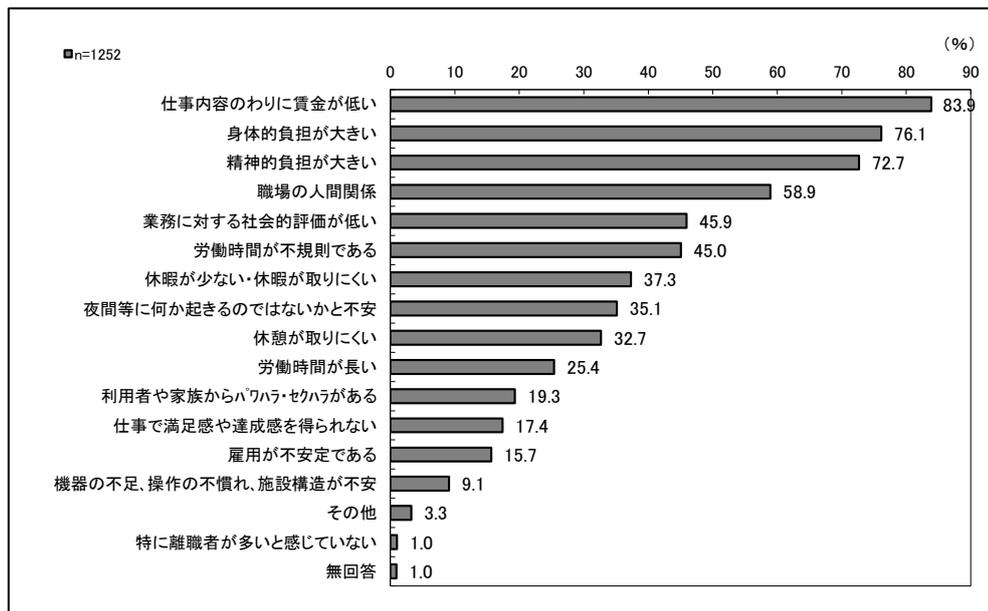
(11) 離職する人が多い原因について

問 33 介護の業界で離職される人が多いのは、主にどのようなことが原因だと思いますか。【複数回答】

「仕事内容のわりに賃金が低い」(83.9%)、「身体的負担が大きい」(76.1%)、「精神的負担が大きい」(72.7%)に回答が集まる。

「職場の人間関係」(58.9%)、「業務に対する社会的評価が低い」(45.9%)、「労働時間が不規則である」(45.0%)等がこれに続く。

■ 図表 離職する人が多い原因について ■



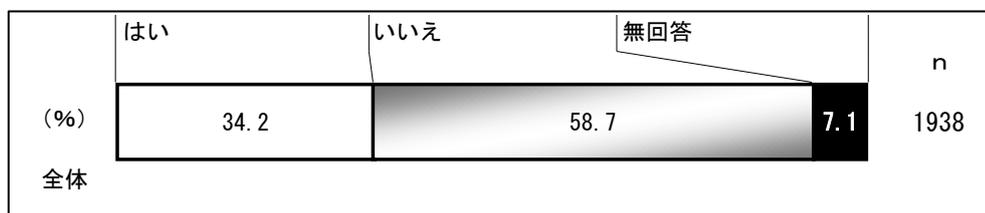
7. 各種調査における類似設問の比較

(1) 意思表示が出来なくなった時に備えて家族と話し合ったこと

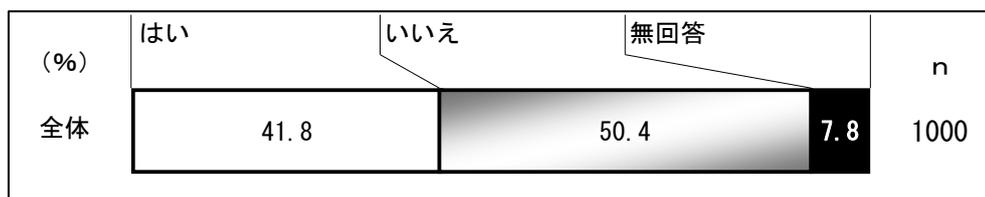
問 病気や認知機能の低下等により意思表示ができなくなった時のために、自分の望むケアや医療について考えたり、家族と話し合ったりしたことがありますか。

全体として「いいえ」が「はい」を上回る。
「はい」の割合が最も多くなったのは、『介護サービス未利用者』を対象とした調査となった(43.6%)。

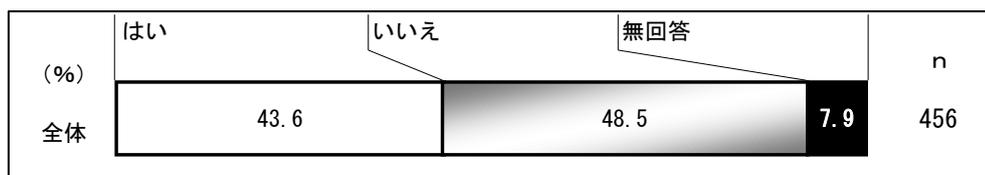
■図表 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 問68■



■図表 介護保険サービス利用状況実態調査（介護サービス利用者） 問38■



■図表 介護保険サービス利用状況実態調査（介護サービス未利用者） 問32■

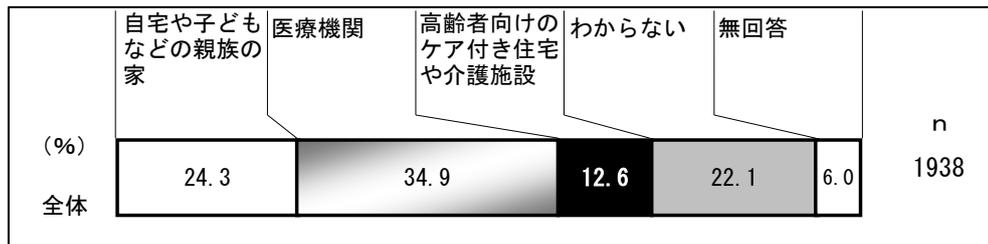


(2) 最期を迎えたい場所

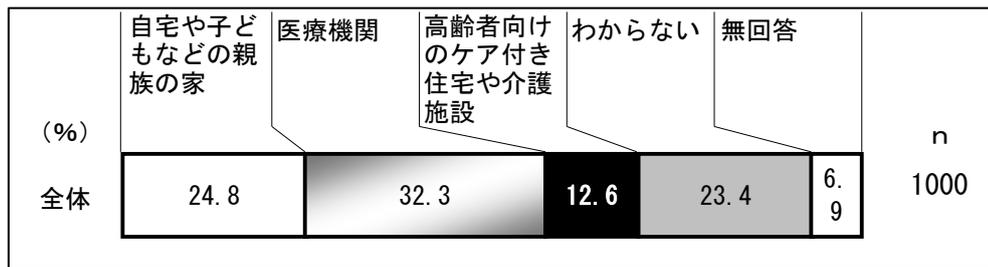
問 もしあなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

『介護サービス未利用者』を対象とした調査結果では、自身の最期を迎える場所として「医療機関」(41.4%)と答えた割合が、他調査の結果と比べて多くなった。

■図表 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 問 69■



■図表 介護保険サービス利用状況実態調査 (介護サービス利用者) 問 39■



■図表 介護保険サービス利用状況実態調査 (介護サービス未利用者) 問 33■

